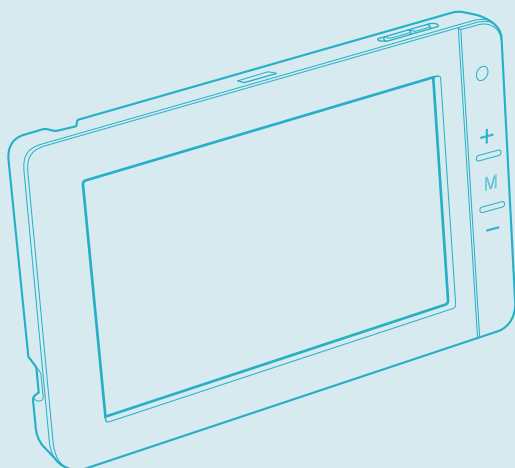
トライウインポケット
Trywin Pocket

DTN-X651

取扱説明書

商標と著作権

①本書の内容の一部または全部を無断で転載する事を禁じます。
②本書の内容および含まれている情報は、予告なく変更される事があります。
③本書の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
④本書内で指示されている内容には、必ず従ってください。本書に記載されている内容を無視した行為や誤った操作によって生じた障害および損害については、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。

Microsoft、Windows Media および Windows のロゴは米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

マップコード、MAPCODE は株式会社デンソーの登録商標です。

MAPPLE / マップル / まっぷる / スーパーマップル /MAPPLEnavi は株式会社昭文社の登録商標です。

microSD、microSDHC は、SD-3C, LLC の商標です。

本書に記載の社名または製品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

目次

安全上のご注意

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる場所に保証書と共に大切に保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 **この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**

⚠注意 **この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害発生が想定される内容を示しています。**

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

安全上のご注意［本体］

警　告

- 付属のシガー電源アダプターは、必ず DC 12 V 車で使用してください。他の電源で使用すると火災や故障の原因になります。
  本機は DC 12 V 車以外には使用できません。
- 付属の AC アダプターは、必ず交流（AC）100V で使用してください。他の電源で使用すると火災や故障の原因になります。

- 本機は、道路交通法および関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくダッシュボードにお取り付けください。
- 運転に支障をきたす場所には、絶対に取り付けないでください。運転に支障をきたす場所（ハンドル、シフトレバー、ブレーキペダル付近など）への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。
- エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けないでください。エアバックの動作を妨げる場所への取り付けは、緊急時のエアバックの不動作やエアバックが膨らむ際に本機が外れて交通事故やけがの原因になります。
- 前方・後方の視界やバックミラーを妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所へは取り付けないでください。交通事故やけがの原因になります。

- 車に取り付けられている電装品などの影響で本機が正しく動作しない事がまれにあります。その場合は、本体の位置を変えるなどで最適な場所を選んで取り付けてください。

- 実際の交通規制に従って走行してください。交通事故やけがなどの原因になります。
  ルート誘導中でも、必ず道路標識など実際の交通規制に従って運転してください。
  時間の経過により、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。運転の際は必ず実際の交通標識に従ってください。

  ナビゲーションの画面に表示される情報や建物や道路などの形状は実際と異なる場合があります。
- 運転中や歩行中は画面を見たり、ナビゲーションの操作をしないでください。交通事故やけがの原因となります。運転中は安全な場所に停車し、歩行中は安全な場所に立ち止まってから画面を見てください。

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、シガー電源アダプターまたは AC アダプターをご使用の際は、必ずそれらのアダプターを抜いてください。煙が出なくなるのを確認してサポートセンターに修理をご依頼ください。

- 万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、シガー電源アダプターまたは AC アダプターをご使用の際は、必ずそれらのアダプターを抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 万一機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、シガー電源アダプターまたは AC アダプターをご使用の際は、必ずそれらのアダプターを抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

警　告

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

● 雷が鳴り出したら、シガー電源アダプターまたは AC アダプターをご使用の際は、必ずそれらのアダプターには触れないでください。感電の原因となります。

接触禁止

● この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水濡れ禁止

● 濡れた手でシガー電源アダプターまたは AC アダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

濡れ手接触禁止

● シガー電源アダプターまたは AC アダプターをタコ足配線はしないでください。火災や加熱によるやけどの原因となります。

● 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、シガー電源アダプターまたは AC アダプターをご使用の際は、必ずそれらのアダプターを抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
● 万一、シガー電源アダプターまたは AC アダプターの電源コードが傷ついた場合は、機器本体の電源スイッチを切り、シガー電源アダプターまたは AC アダプターをご使用の際は、必ずそれらのアダプターを抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● この機器の内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
● この機器の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
● タッチスクリーン部に強い力を加えたり、鋭利なもので押さないでください。タッチスクリーン部が破損する原因となります。

警　告

- この機器のキャビネットは絶対外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理はサポートセンターにご依頼ください。
- この機器および付属のシガー電源アダプター、AC アダプターは、改造しないでください。火災・感電の原因となります。
- 付属のシガー電源アダプターまたは AC アダプターを他の機器の電源として使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 付属のシガー電源アダプターまたは AC アダプターの電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱しないでください。コードが破損して火災・感電の原因となることがあります。

注　意

- 付属のシガー電源アダプターは、車のシガープラグに直接接続してください。シガープラグを分岐させたアダプターには、接続しないでください。火災や故障の原因になることがあります。
- 付属の AC アダプターは、家庭用の交流（AC）100V で使用してください。DC/AC コンバータのように電源を変換した機器には、接続しないでください。他の電源で使用すると火災や故障の原因になることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 付属のシガー電源アダプターまたは AC アダプターを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

注　意

- 運転中の音量は、周囲の音が聞こえる程度の音量にしてください。音量が大きくなり過ぎると、交通事故の原因となることがあります。
- 自動車やバイク、自転車の運転中は、イヤフォンでのご使用はおやめください。運転の妨げとなり、違法となる場合があります。
- 本機の電源を入れたら、まず音量（ボリューム）を最適なレベルに調節してください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。また、本機のスピーカーを使ってお楽しみになる前には、音量（ボリューム）を最小にしてください。
- イヤフォンやスピーカーなどを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。
- 大音量で長時間音楽を聴き続けると、聴力に支障をきたす場合がありますのでご注意ください。万一、耳鳴がする場合にはご使用を中断してください。

- シガーライターソケットから充電を行っている場合は、長時間エンジンを停止しないでください。車のバッテリーが上がる恐れがあります。
- 車に取り付ける際には、必ず付属の取付キットを使って、指示通りに取り付けを行ってください。本機が正しく取り付けられていなかったり、他の器具にて本機が取り付けられていると、本機が落下して故障やけがの原因となることがあります。
  また、ダッシュボードの素材によって取付できない場合があります。
- ETC のアンテナ部分や他の機器のアンテナやセンサー部分を隠すような取り付け方はしないでください。それらの機器が正常に働かない場合があります。
- タッチスクリーンは指先を使って操作してください。
  ボールペン・シャープペンシルのペン先、その他先の尖ったものなどでタッチスクリーンに触れると、誤動作やタッチスクリーンの故障の原因となることがあります。

- 変形したり、傷ついた microSD カードを本機に入れないでください。本機の故障や誤動作の原因となることがあります。
- 万一、microSD カードが取り出せなくなったときは、無理に取り出そうとせずに、サポートセンターにお問い合わせください。無理に取り出そうとすると本機の故障の原因となることがあります。

重要

自動車を運転中に本機のワンセグ機能を操作、およびワンセグ放送を視聴することは、運転操作を誤る原因となります。非常に危険ですので絶対に行わないでください。

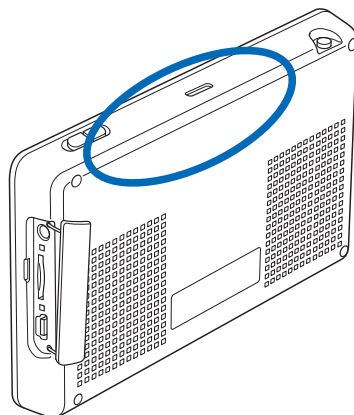
タッチスクリーンについて

- タッチスクリーンやタッチスクリーン外周を強く押さないでください。タッチスクリーンに強い圧力をかけると、液晶の劣化や液晶の故障の原因となります。お手入れの際にもお気をつけください。タッチスクリーンは液晶を使用しています。この液晶は高い品質管理の元に製造されておりますが、液晶のドット抜けおよび液晶の色むらが出ることがあります。これは液晶を使用したタッチスクリーンの特性によるもので本機の故障ではありません。また、液晶のドット抜けにより赤(または緑、青)色の点が表示されることがありますが、これも液晶パネルの特性によるもので本機の故障ではありません。
- 極端に温度の低い場所や高い場所に、本機を放置しますと液晶の劣化や液晶の故障の原因となります。
- タッチスクリーンを硬いものや先の尖ったもので押さないでください。タッチスクリーンが傷つくおそれがあります。
- タッチスクリーンを固い布や強い力で拭かないでください。液晶の劣化や液晶パネルを傷つける原因となります。
- タッチスクリーンのお手入れは、次のように行ってください。
  - 水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませてください。
  - 布をよく絞ってください。
  - 絞った布で、タッチスクリーンを強く押さないように、軽く拭いてください。
- パネルが破損した場合は、パネル内部には絶対に触れないでください。
- ご使用になる前には、タッチスクリーンの保護シートをはがしてください。また、市販の保護シートは貼らないでください。
  保護シートが貼られていると、タッチスクリーンが正しく動作しないことがあります。

ワンセグについて

- 本機の操作中などに、ワンセグ TV 用アンテナが目に刺さらないように注意してください。
- ワンセグ TV 用アンテナをお使いのときは、運転に支障をきたさないように伸ばしてください。
- ワンセグTV用アンテナに無理な力を加えないでください。アンテナが折れたり、曲がったりします。
- ワンセグ TV の表示は、信号のデータ処理の方式により地上アナログ放送やフルセグの地上デジタル放送に比べて遅くなることがあります。従って、緊急地震速報などの緊急を要する情報に関しましては、他の方法も合わせてご利用されることをお勧めいたします。

内蔵 GPS アンテナについて

● 本機の上部に GPS アンテナが内蔵されています。従って、この部分を何かで覆われていたり、この上に遮蔽物があったりすると、本機の性能を充分に発揮することができません。

取付キットについて

● 取付キットは、運転に支障をきたさない位置、またエアバックなどの安全装置の働きを妨げない位置にお取り付けください。また、お取り付けの際には、取り付けようとする場所の強度が充分にあるかをご確認ください。
● 取付キットは、その一部だけを使う、または他の器具と組み合わせて使うなどのご使用はおやめください。本機の落下する原因となることがあります。
● 取付キットを自動車以外には使用しないでください。
● 吸盤ベースはテープにより固定されます。したがって、一度吸盤ベースを貼り付けると取り外しが困難になりますので、貼り付ける位置は慎重に選んでください。

microSD カードについて

● 本機は、音楽、動画（ムービー）、写真を microSD カードに入れて使用します。
● 本機の電源が入っているときに、microSD カードを抜き差ししないでください。本機の故障や誤動作の原因となることがあります。また、microSD カード内のデータを破損や損失する恐れがあります。
● 本機で再生できるファイルを記憶するフォルダの制限はありません。
● ごくまれに、正常にお使いになっていても microSD カード内のデータの一部または全てが読み取れなくなってしまうことがあります。この様な場合に備えて、microSD カード内のデータはバックアップを取っておくようにお願いします。
● microSD カードは付属されていません。市販の microSD カードをご購入ください。

ご使用の前に

お買い上げの直後は、充分に充電されていません。10、11 ページをご覧になり、充電してからご使用ください。

タッチスクリーン保護シートについて

- ご使用になる前には、タッチスクリーンの保護シートをはがしてください。
- 市販の保護シートは貼らないでください。
- 保護シートが貼られていると、タッチスクリーンが正しく動作しないことがあります。

電源が入らない場合は

長期間使われなかった、または本機の内蔵バッテリーのみで長時間使用された場合、電池が無くなって、電源が入らない場合があります。
このような場合は、充分に充電をおこなってから電源を入れてください。

注意

- 本機をお使いにならないときは、必ず電源を切るようにお願いいたします。

ナビゲーションの特徴

高性能！ルート探索＆誘導！

- 4GB の内蔵メモリに 10m スケールまでの多彩な地図表現を実現。
- 株式会社昭文社の道路地図「マップル」の表現をベースに「ぬけみち」や「でっか字、もっとでっか字」の表示など豊富な各種位置情報コンテンツを融合した新しいナビゲーションです。
  ぬけみちに関しては、2009 年版の 31 都道府県、ぬけみちデータ収録。ぬけみちを考慮したルート探索誘導にも対応。
- 有料道路は専用のハイウェイモード、入口・分岐イラストでわかりやすくご案内！
- おすすめ、有料優先、一般優先、距離優先などドライブプランに合わせた探索条件でドライブをサポートします。
- 交差点拡大、レーン情報でドライバーをアシストします。

多彩な地点検索機能！

- 日本全国番地までの住所検索やジャンル、周辺からのスポット検索はもちろん、フリーワードによる名称検索や電話番号検索も標準装備。
  検索手段が豊富、だから探しやすい！
- 検索情報は、住所検索が約 3,600 万件、電話番号検索が約 780 万件、ジャンル検索が約 230 万件！
- 昭文社発行の地図やガイドブックに掲載されている「まっぷるコード」を入力して観光施設やお店の番号を検索。

見やすさに実績があるデジタル地図採用！

- 株式会社昭文社の道路地図「マップル」をベースにしたデジタル地図を採用！
- 日本全国を 10m ～ 200km スケールの 14 段階でフルカバー！

その他の主な機能

- 経由地を考慮したルート探索
- 地点登録機能
- 検索履歴機能
- オートリルート
- ヘディングアップ、ノースアップ表示の地図表示切替え
- 音声案内
- デモ走行
- 予想到着時間、残距離を表示
- 地図上への店舗ロゴマーク表示

操作説明について

ナビゲーション・ソフトは、タッチスクリーンの画面を触れることで操作を行います。この取扱説明書では、画面に触れることを「タッチする」と表現しています。

ワンセグ TV の特徴

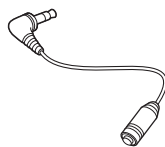
- ワンセグ TV 用ロッドアンテナを内蔵。
- スキャン機能を使って視聴可能なチャンネルを検索。
- EPG（Electronic Program Guide：電子番組表）、字幕表示に対応

その他の特徴

- 音楽・動画・写真再生が可能
- 音楽リストから MP3 ファイルの再生が可能
- 動画リストから AVI（MPEG2/4、Xvid）ファイルの再生が可能
- 写真リストから JPEG ファイルの再生が可能
- 音楽・動画・写真ファイルは、便利なリスト表示
- 内蔵スピーカー、イヤフォンの自動切り替え可能
- 内蔵リチウムポリマー充電池を使用し、約 3 時間※の動作が可能（ナビ表示画面状態にて）
  ※使用環境により、動作可能時間は異なります。
- microSD は、microSDHC にも対応
- バッテリー残量表示
- 本体の寸法は（突起物を含まず）（mm）：144（W）× 90（H）× 17.8（D）
- 質量（重量）：約 230 g

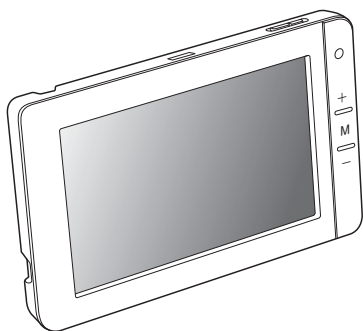
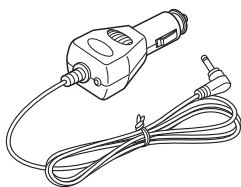
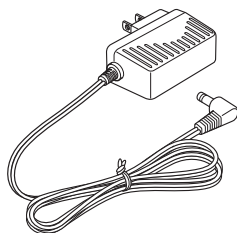
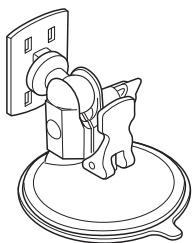
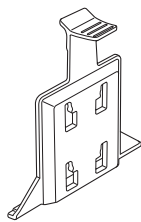
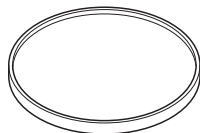
別売品

- DTN-X651 用イヤフォン変換アダプター
  品番：SP-EPEX750
  イヤホンプラグをφ 2.5 からφ 3.5 に変換するアダプターになります。
  こちらを使用する事により、φ 3.5 のイヤフォンを使用することができます。
  本機のイヤフォン接続端子にφ 3.5 イヤフォンは、直接本機に接続することは
  できません。このイヤフォン変換アダプターを使って、接続してください。

※ご注文、お問い合わせにつきましてはお買い求めいただきました販売店またはトライウインサポートセンターまでお願いします。（→ P128）

パッケージ内容の確認

重要

- ご使用の前に下記の物が梱包されていることをご確認ください。万一、不足がある場合は、弊社のサポートセンターまでご連絡ください。

- DTN-X651 本体

- シガー電源アダプター

- AC アダプター

- 取付キット（吸盤付きステー、本体固定ホルダー、吸盤ベース）

吸盤付きステー

本体固定ホルダー

吸盤ベース

アルコールパッド

（吸盤ベースをダッシュボードに取り付ける際に「汚れ落とし」として使用してください。その他の目的には使用しないでください。）

- 取扱説明書（本書）
- 保証書

取付キットの使い方

付属の取付キット（吸盤付きステー、本体固定ホルダー、吸盤ベース）を使って、自動車に本機を取り付けます。

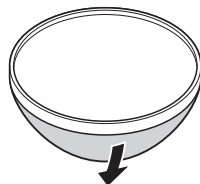
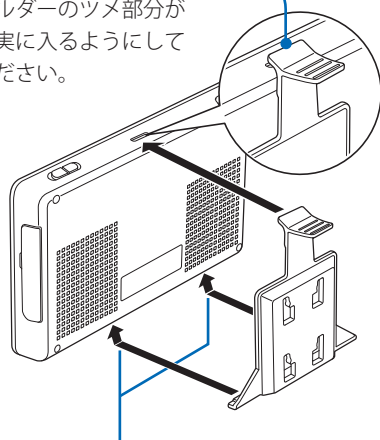
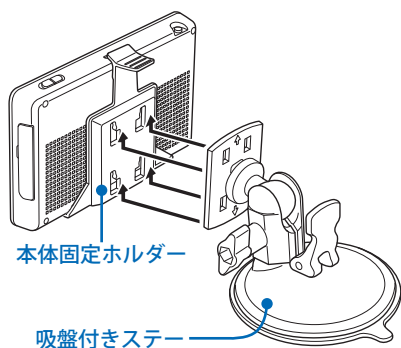
警告

- 本機は、道路交通法および関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくダッシュボードにお取り付けください。
- 取り付ける際には、運転に支障となる場所には取り付けないでください。
  交通事故やけがの原因となります。
- シートベルトやエアバックなどの安全装置の働きを妨げる場所には、取り付けないでください。
  事故の際に、安全装置が働かず、けがの原因となります。
- 一度取り外した吸盤ベースは粘着力が低下しています。再度のご使用は避けてください。本機が落下して、故障やけがの原因となります。

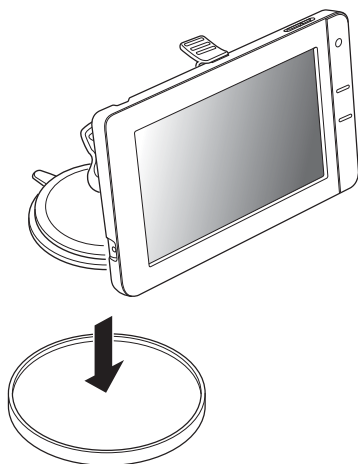
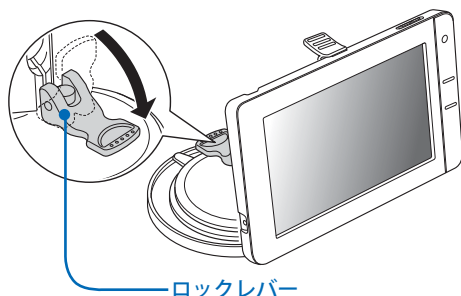
注意

- 吸盤ベースはテープにより固定されます。したがって、一度吸盤ベースを貼り付けると取り外しが困難になりますので、貼り付ける位置は慎重に選んでください。
- 取付キットは、ダッシュボードの素材によって取り付けできない場合があります。

1 吸盤ベースを取り付けられる平らな場所を選び、その場所のホコリや油などをきれいに取り除く

2 吸盤ベースの底に付いているテープを剥がし固定する

3 本機下部から本体固定ホルダーをはめ、次に上部側をはめる

4 吸盤付きステーを本機に取り付けた本体固定ホルダーとカチッという音が鳴るまで上側にスライドさせる

注意

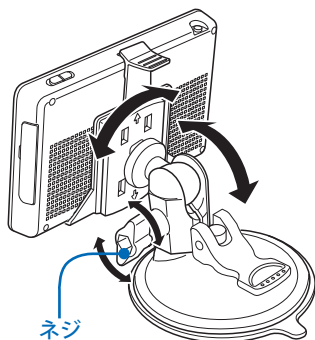
- 本体固定ホルダーをスライドさせて吸盤付きステーに取り付ける時、強度確保の為に非常に堅く取り付けられるように設計されております。
  その為、力を入れてカチッと音がするまでしっかりスライドさせてください。
  また、取り付けの際に手を滑らせて、手や指をけがしないように注意してください。

5 手順 **2** で取り付けた吸盤ベースの上に、吸盤付きステーを置く

6 吸盤付きステーのロックレバーを押し下げる

7 取り付けた各部位がしっかり固定されているか確認する

注意

- 取り付けの際には、必ず付属している器具や部品で取り付けてください。他の器具や部品を使うと、本機の脱落や本機を破損する恐れがあります。
- 取付キットは自動車以外に使用しないでください。

メモ

- ねじを緩めてお好みの角度と向きを調整してください。調整後はねじをしっかり固定してください。

注意

- 低温時などは吸盤の吸着力が弱くなり、落下の原因になります。車内が適温になってからご使用ください。(→ P133)

8 取り付けた各部位がしっかり固定されているか確認する

注意

- 取り付けの際には、必ず付属している器具や部品で取り付けてください。他の器具や部品を使うと、本機の脱落や本機を破損する恐れがあります。

吸盤付きステーの取り外し方

吸盤付きステーを取り外す場合は、吸盤の破損及びダッシュボードの変形・破損を防ぐ為、以下の手順で行ってください。

注意

- 吸盤付きステーを外す時は、無理に引っ張ったりしないでください。吸盤ベースごと剥がれるなどによりダッシュボードを破損する原因となる事があります。本書をよくお読みになり、取り付け・取り外しには充分にご注意ください。
- お客様の使用環境にもよりますが、できるだけ使用後は、吸盤付きステーを吸盤ベースからはずしてください。
  ダッシュボードに取り付けた状態で長期間放置すると、吸着力が低下して落下する原因となります。
- ソフトフィール仕上げまたはクッション性のある生地(スポンジが中に入っている)のダッシュボード部分に取り付けた際には、特に変形・破損にご注意ください。
- ロックレバーを解除した後に、取り外す際にはタブ(吸盤部分の後方のつまみ部分)を利用し、注意深くゆっくりと取り外し作業を行ってください。
- 吸盤ベースはテープで固定されていますので、無理に取り外すとダッシュボードに跡が残ったり、変形・破損がおきる可能性がありますので、取り付けや取り外しの際には十分注意してください。

重要

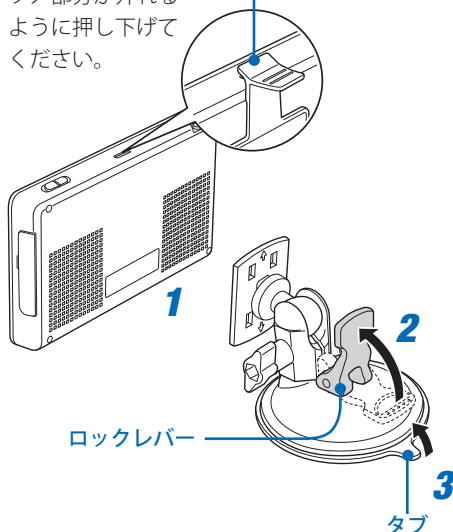
- 本機の取り付けや取り外しにおいて、ダッシュボードやその他の箇所に変形や破損が生じましても、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

1 ナビゲーション本体を本体固定ホルダーから取り外す

2 ロックレバーを押し上げる

3 吸盤部分のタブを持ち、徐々に吸盤内に空気を入れる

4 ゆっくりと吸盤をはがすように外す

吸盤をはがす際には、両手で作業を行って取り外してください。

電源を入れるには

警告

- 付属のシガー電源アダプターは、車のエンジンをスタートさせてから、接続してください。付属のシガー電源アダプターを接続させてから、車のエンジンをスタートさせると、急激な電圧変動により、本機の故障や不具合の原因となることがあります。

重要

- 本機内蔵のリチウムポリマー充電池は充電されておりません。シガー電源アダプターまたは AC アダプターを接続し、充電を行ってからお使いください。

警告

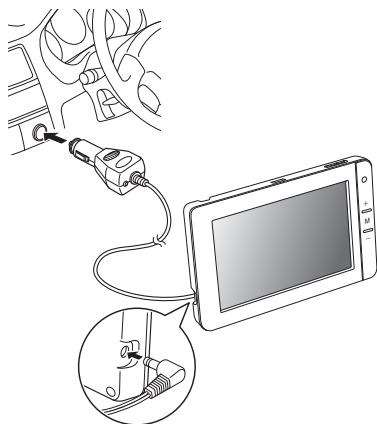
- 付属のシガー電源アダプターは 12V 車でご使用になれます。電圧の異なる車で使用されると、発熱や故障の原因となります。お使いになる車の電圧が分からない場合は、車をお買い上げになった販売店などにお問い合わせください。
- 付属の AC アダプターは、必ず交流（AC）100V で使用してください。他の電源で使用すると火災や故障の原因になります。

メモ

- 本機の電源が入っているときに、付属のシガー電源アダプターが抜けたり、車のエンジンを切ったりしますと、電源を切るメッセージが表示されます。詳しくは、P21 をご覧ください。

車内での使用

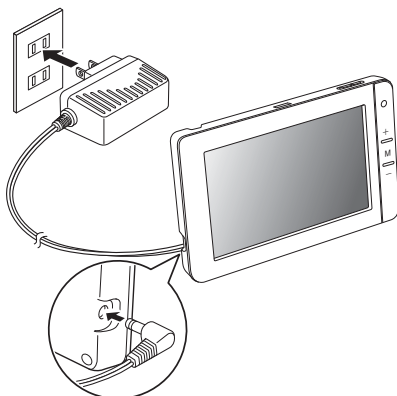
1 車のエンジンをかける

2 本機の電源端子と付属シガー電源アダプターの電源プラグを接続する

3 接続した付属シガー電源アダプターのシガーライタープラグを、車のシガーライターソケットに挿入する

4 本体右上の電源 LED が点灯することを確認する

詳細につきましては「満充電の確認方法」(→ P11)のメモ欄を参照してください。

室内での使用

1 付属 AC アダプターの AC プラグを交流 100V のコンセントに接続する

2 本機の電源端子と付属 AC アダプターの電源プラグを接続する

3 本体右上の電源 LED が点灯することを確認する

注意

- 本機の電源が入っているときに、付属の電源アダプターが抜けたり、車のエンジンを切ったりしますと「10 秒後に自動で電源が切れます。そのままお使いになる時は､画面をタッチして下さい。」とメッセージが表示されます。そのままお使いになるときは､画面をタッチしてください。画面をタッチせずに 10 秒間待つと電源が切れます。また本体の電源が切れる前に電源アダプターを接続し、外部電源が供給されると確認画面は消えます。

充電の仕方

重要

- 車種により、シガー電源アダプターで充電ができない場合や充電が完了にならない場合があります。
- 本機のサービス用端子とパソコンを繋いでの充電はできません。
  充電は付属の AC アダプターまたはシガー電源アダプターを使って、正しく充電してください。
- 本機は、充電できる温度範囲（0℃～ 45℃）を外れると安全性のために、本機の保護回路が働き、充電ができなくなります。本機が充電できる温度範囲に戻してください。

メモ

- 本機が充電できる温度範囲に戻すには、電源を切った状態で日陰や涼しい場所などに置いておくことをお勧めいたします。
  冷蔵庫内や冷房設備の直下等に置いて、急速に冷却するのは避けてください。
- バッテリーアイコンの表示は、以下のようになります。
  - ：満充電（3 本が同時点灯します）
  - ：充電中。バッテリー残量表示が左から右に移動します。
  - ：バッテリーモードでバッテリー残量表示
  - ：バッテリー残量が不足しています。直ぐに充電をおこなってください。さらにバッテリーの残量が不足すると、下記のメッセージが画面に表示されて電源が切れます。

シガー電源アダプターの場合

1. 車のエンジンをかける
2. 本機の電源端子と付属シガー電源アダプターの電源プラグを接続する
3. 接続した付属シガー電源アダプターのシガーライタープラグを車のシガーライターソケットに挿入する
4. 電源 LED が赤色になることを確かめる
   このときのバッテリー残量表示は、充電中 に変化します。（バッテリーレベルが左から右に移動します。）
5. バッテリーの残量表示が「満充電」（3 本同時点灯）になることを確かめる
   初めて充電する場合や長期間ご使用にならなかった場合は、充電が完了するまで約 3 時間以上かかる場合があります。

本機からシガー電源アダプターを外す場合

1. 付属シガー電源アダプターのシガーライタープラグを車のシガーライターソケットから外す
2. 付属シガー電源アダプターの電源プラグを本機の電源端子から外す

警告

- シガーライターソケットのタコ足配線はしないでください。火災や加熱によるやけどの原因となります。

注意

- シガーライターソケットから充電を行っている場合は、長時間エンジンを停止しないでください。車のバッテリーが上がる恐れがあります。

AC アダプターの場合

1 付属 AC アダプターの AC プラグを交流 100V のコンセントに接続する

2 本機の電源端子と付属 AC アダプターの電源プラグを接続する

3 電源 LED が赤色になることを確かめる
このとき、バッテリー残量表示は左から右に移動し、充電中 に変化します。

4 バッテリーの残量表示が「満充電」 (3 本同時点灯)になることを確かめる
初めて充電する場合や長期間ご使用にならなかった場合は、充電が完了するまで約 3 時間以上かかる場合があります。

本機から AC アダプターを外す場合

1 付属 AC アダプターの電源プラグを本機の電源端子から外す

2 交流 100V のコンセントから付属 AC アダプターの AC プラグを外す

警告

- 付属 AC アダプターのタコ足配線はしないでください。火災や加熱によるやけどの原因となります。

満充電の確認方法

本機の電源が入っているときに、下記の方法で満充電であることを確認できます。

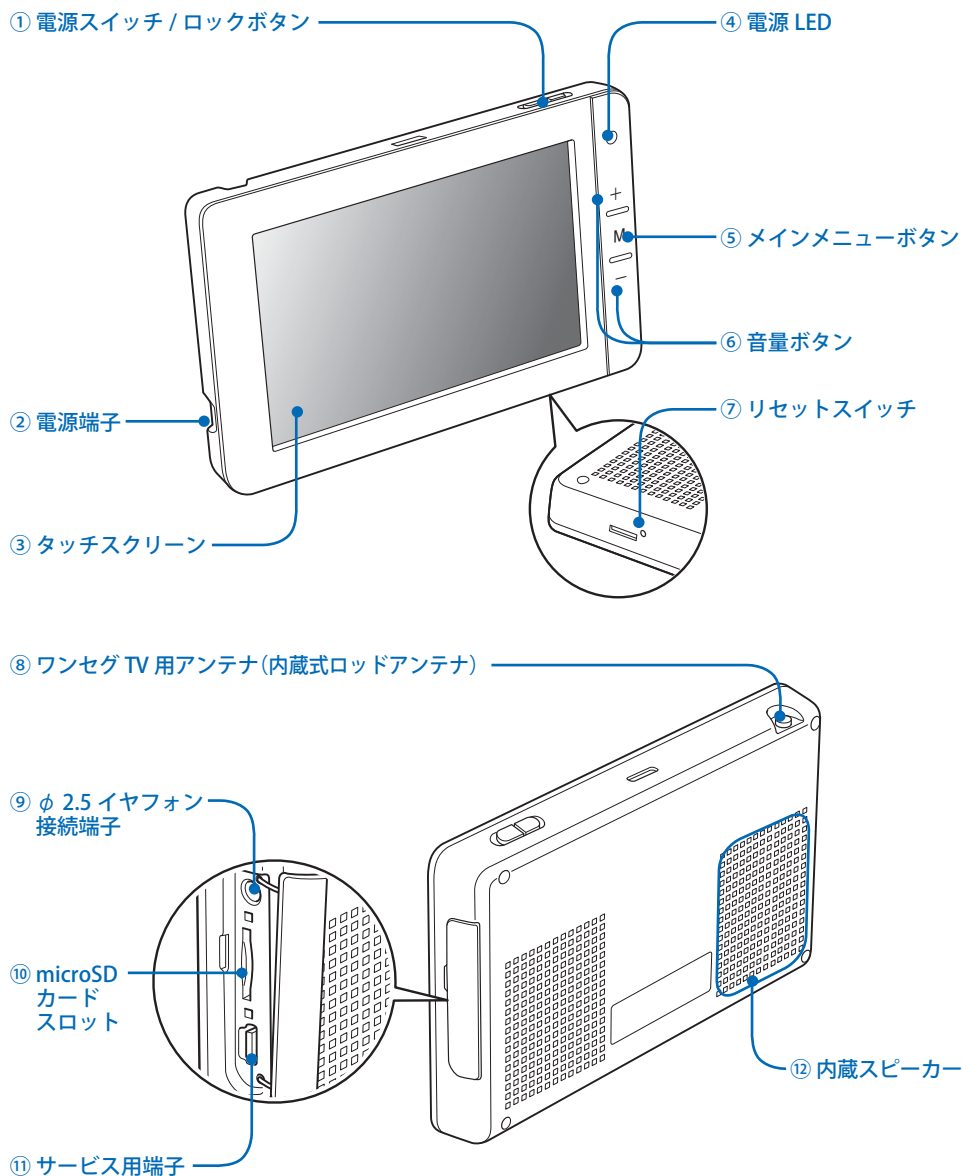
1 車のエンジンをかけ、付属シガー電源アダプターと本機を接続する
または、100V のコンセントに接続された付属 AC アダプターと本機を接続する

2 本機の電源を入れる

3 メインメニューを表示する

4 メインメニューのバッテリー残量表示を確認する
満充電の場合、バッテリー残量表示は 「3 本同時」点灯になります。

各部の名称

① 電源スイッチ / ロックボタン
④ 電源 LED
⑤ メインメニューボタン
⑥ 音量ボタン
② 電源端子
⑦ リセットスイッチ
③ タッチスクリーン

各部の動作

① 電源スイッチ / ロックボタン

- 電源が切れた状態で、このスイッチを右(⏻)へ画面が表示するまでスライドしてください。電源が入ります。
- 本機の電源を切るには、「電源 OFF」のメッセージが表示されるまで、このスイッチを右(⏻)にスライドした状態にしてください。
- このスイッチを左にスライドするとキーロックモード( )になります。キーロックモード中は、どのボタンを押しても、またタッチスクリーンをタッチしても本機は操作できません。

② 電源端子

ここに付属の AC アダプターまたはシガー電源アダプターの電源プラグを接続します。

③ タッチスクリーン

タッチスクリーン上の表示を指先を使って操作します。

注意

- ボールペンやシャープペンシルなどで、タッチスクリーンに触れると、タッチスクリーンを傷つけたり、正しく動作しないことがあります。
- ご使用になる前には、タッチスクリーンの保護シートをはがしてください。また、市販の保護シートは貼らないでください。
- 保護シートが貼られていると、タッチスクリーンが正しく動作しないことがあります。

④ 電源 LED

LED の色により、本機の動作状態をお知らせします。
赤：外部電源接続時
緑：内蔵バッテリーにて駆動時

メモ

- この LED は、電源が切られていても、付属の AC アダプターまたはシガー電源アダプターが接続されていると充電状態を表示するために赤色に点灯します。
- 満充電を確認したい場合は、外部電源接続した状態で電源を ON にしてからご確認ください。詳しくは、「満充電の確認方法」(→ P11)を参照してください。

⑤ メインメニューボタン

このボタンを押すと、メインメニューが表示されます。

メモ

- ナビ動作中には、このボタンを押してもメインメニューは表示されません。
- ワンセグ TV モードやマルチメディアモードを起動中はそれらを終了してメインメニューに戻ります。

⑥ 音量ボタン

＋ボタンを押すと音量は大きくなります。－ボタンを押すと音量は小さくなります。
これらのボタンを押し続けると、連続して音量が変化します。

注意

- メインメニューボタンと音量ボタンはタッチの仕方、個人差、温度や湿度によって正しく動作しないことがあります。
  操作をする際は指の腹を使ってしっかりタッチしてください。

⑦ リセットスイッチ

本機が正しく動作しなくなったときに押してください。

メモ

- リセットスイッチを押しても登録地等のメモリーは消えません。

⑧ ワンセグ TV 用アンテナ（内蔵式ロッドアンテナ）

ワンセグ TV 用のロッドアンテナです。ワンセグ TV を見るときは、引き出してお使いください。

注意

- ワンセグ TV 用アンテナは、最後まで引き出してお使いください。アンテナを引き出すのを途中で止めてお使いになると、物に当たったときなどにアンテナが曲がる恐れがあります。

⑨ φ 2.5 イヤフォン接続端子

この端子にφ 2.5 イヤフォンを接続してください。この端子にイヤフォンが接続されているときは、本機の内蔵スピーカーから音は出ません。

注意

- お使いのイヤフォンにより、プラグの根元まで正しく接続できないことがあります。イヤフォンをご使用になる際には、ご注意ください。
- φ 3.5 のミニプラグをご使用の際には、別売りのイヤフォン変換アダプターをご使用ください。(→ P3)
- イヤフォンは本機が完全に立ち上がってから接続してください。

⑩ microSD カードスロット

ここに microSD カードを挿入します。

注意

- microSD カードスロットには、microSD カード以外のものを挿入しないでください。液体類・金属類・燃えやすいものなどを挿入すると、火災・感電・故障の原因となります。

メモ

- microSD は、microSDHC にも対応しております。

⑪ サービス用端子

使用しません。
この端子は本機の修理などのサービス作業を行う際に使用するものです。

警告

- 絶対に本機とパソコンを接続しないでください。パソコンに接続して本機のデータを書き換えたり、消去したりすると正常に動作しなくなります。
  その場合、製品保証の対象外とさせていただきます。

⑫ 内蔵スピーカー

ここから音声が出ます。

注意

- イヤフォン接続端子が使用されている時は、内蔵スピーカーから音声は出ません。

表示について

メインメニューについて

電源を入れると下記のメインメニュー画面が表示されます。

メインメニュー画面のそれぞれのアイコンをタッチすることで機能を切り替えることができます。

Micro SD カード
マイクロ SD カードの有無を表示します。
SD：microSD カードが挿入されています。
SD：microSD カードが挿入されていません。

キーロック状態表示
：キーロック状態です。
：キーロック状態が解除されています。

ナビゲーション
ナビゲーションを使うには、ここをタッチします。

ワンセグ
ワンセグ TV を見るときには、ここをタッチします。

マルチメディア
音楽、動画、写真を再生したりするときに、ここをタッチします。

設定
システム設定の変更をするには、ここをタッチします。
各種設定を選択するメニューが表示されます。

バッテリー状態表示
バッテリーの残量を表示します。
：バッテリーの残量が不足しています。すぐに充電を行ってください。このまま使うと右記のメッセージが表示された後、電源が切れます。

：バッテリーの残量表示です。
：充電中です。(バッテリー残量表示が「左から右」に移動します。)

ナビゲーションメニュー

ナビゲーション中に [**メニュー**] をタッチして呼び出します。
メニューが呼び出されます。
この画面から目的地の検索やナビゲーションの設定を変えることができます。

登録地点
登録した場所を設定地点にするときに、ここをタッチします。

検索
場所を検索するときに、ここをタッチします。目的地や経由地を検索して設定する事ができます。

履歴
過去に検索した行き先（目的地）から探すときに、ここをタッチします。

ルート編集
設定したルートを変更するときに、ここをタッチします。

現在地
ナビゲーションメニューを終了して、現在地画面に戻るときに、ここをタッチします。

自宅
登録した自宅を目的地にするときに、ここをタッチします。

設定
地図の表示方法などナビゲーションを各種設定するときに、ここをタッチします。
また、ナビゲーションを終了するときも、ここで表示される終了をタッチします。

戻る
ナビゲーションメニューを終了して、前回表示していた地図画面に戻る時にタッチします。

ナビゲーションの検索メニュー

「フリーワード」や「住所」をタッチすると、場所を検索するためのメニューが表示されます。

住所（P43）
住所から場所を探すときに、ここをタッチします。

フリーワード（P39）
1つまたは複数の言葉を入力して場所を検索するときに、ここをタッチします。

施設（P45）
ジャンルリストから施設を探すときに、ここをタッチします。

電話番号（P47）
電話番号から場所を探すときに、ここをタッチします。

コード入力（P50、P52）
マップコードとまっぷるコードから場所を探すときに、ここをタッチします。

現在地（P37）
ナビゲーションの検索メニューを終了して、現在地画面に戻るときに、ここをタッチします。

戻る（P37）
一つ前の画面に戻るときに、ここをタッチします。

周辺施設（P49）
現在地やスクロール先の周辺施設を探す時にここをタッチします。

マップコード（P50）
マップコードから場所を探すときに、ここをタッチします。
まっぷるコード（P52）
まっぷるコードから場所を探すときに、ここをタッチします。
コード入力
マップコード
まっぷるコード
現在地
戻る

ナビゲーションのルートメニュー

この画面からルートの編集、消去、ルートデモを行う設定画面を表示します。

ナビゲーションの設定メニュー

この画面から地図設定、案内設定、ナビゲーションシステムの環境設定を行う画面を表示します。

案内設定
ルート案内の設定を変更時、または自車位置修正(デモ走行出発地点設定)をおこなう時に、ここをタッチします。

地図設定
地図表示の設定を変更するときに、ここをタッチします。

環境設定
ナビゲーションシステムの環境設定を変更するときは、ここをタッチします。

現在地
ナビゲーションの設定メニューを終了して、現在地画面に戻るときに、ここをタッチします。

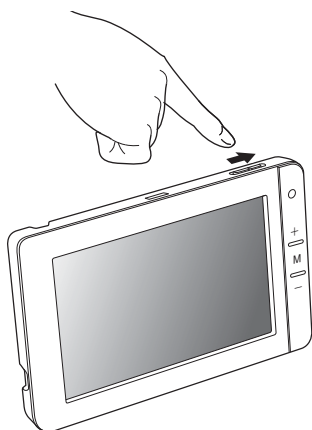
戻る
ナビゲーションメニューに戻るときに、ここをタッチします。

終了
ナビゲーションを終了するときに、ここをタッチします。

基本の操作

電源の入れ方・切り方・音量調整・キーロックモード

1 電源を入れるには、画面が表示されるまで電源スイッチを右(⏻)にスライドする

▼

メインメニューが表示されます。

2 音量を調整するには、音量ボタンをタッチします

＋をタッチすると、音量は大きくなります。
ーをタッチすると、音量は小さくなります。
ボタンをタッチし続けると、音量は連続して変わります。

3 キーロックモードにするには、電源スイッチを左にスライドする

キーロックモード中は、どのボタンを押しても、本機は操作できません。

4 電源を切るには、「電源 OFF」の表示が出るまで電源スイッチを右(⏻)にスライドする

メモ

- カバンの中にいれているときなど、間違って電源が入らないようにご注意ください。バッテリー消耗の原因になります。
電源スイッチを左にスライドしてキーロックモードにすることをお勧めします。
- 「ワンセグ TV」、「マルチメディア」、「設定」において変更した音量はナビゲーション時にも反映されます。

キーロックモード

- 「キーロックモード」にしておくと、電源を入れたままポケットやカバンなどに入れて何かに触れて誤動作する心配がありません。

タッチスクリーンの操作方法

1 タッチスクリーンに表示されているアイコンや表示を軽くタッチする

注意

- タッチスクリーンは指を使って操作してください。
- ペン先が金属製のスタイラスペンやボールペン・シャープペンシルのペン先などでタッチスクリーンに触れないでください。
- ご使用になる前には、タッチスクリーンの保護シートをはがしてください。また、市販の保護シートは貼らないでください。
  保護シートが貼られていると、タッチスクリーンが正しく動作しないことがあります。

ナビゲーションの起動

1 メインメニューの[**ナビゲーション**]をタッチする

2 警告画面の[**OK**]をタッチする

[**OK**]または[**キャンセル**]がタッチされるまで、この表示は消えません。

メモ

- [**キャンセル**]をタッチするとメインメニューに戻ります。

▼

ルート案内中にナビゲーションを終了したとき、次回の起動時にはこのメッセージが表示されます。続けるときは[**はい**]をタッチします。

現在地画面が表示されます。

メモ

- GPS信号の受信状態が悪く、自車位置を測位できないときは、前回終了時の位置を表示します。
- 再度電源を入れた時には、メインメニューが表示されます。

注意

- 通常は電源を入れてから、数分でGPS衛星の測位を行い現在地を表示します。しかし、初めてお使いになる時や、長時間ご使用にならなかったときはGPS衛星の測位を行い現在地を表示するまでに、10～20分程度かかることがあります。その場合、見通しの良い広い場所で現在地が表示されるまで移動しないでください。(→ P92)

ナビゲーションの終了

1 ［**メニュー**］をタッチする

2 ［**設定**］をタッチしてから、［**終了**］をタッチする

▼

3 ［**はい**］をタッチする

［**いいえ**］をタッチすると、設定メニュー画面に戻ります。

メモ

- 案内中にナビゲーションを終了した場合、そのデータは保存されます。次にナビゲーションを起動したとき、前回の目的地を設定するメッセージが出ます。設定する場合は「はい」をタッチしてください。

現在地画面

ナビゲーションを起動すると現在地を中心とした地図画面が表示されます。前回使用したスケールを記憶していますので、起動後の地図画面は前回使用したスケールで表示されます。

GPS 受信状況表示
GPS の受信状態を「圏外（受信不可）～レベル 3（強い）」の 4 段階で表示します。

時刻表示
GPS 衛星から送られてくるデータを元に時刻を表示します。GPS 衛星からの信号を正しく受けていないときは、時刻表示も正しく表示されません。

[地図方位]
地図方位を表示します。赤矢印の向きが「北」方向です。ボタンをタッチするとノースアップ / ヘディングアップ切替えができます。

通過施設名称表示
通過中の施設の名称を表示します。

通過施設情報表示
通過中の施設のレーンを表示します。

スケール表示
地図のスケールを表示します。
スケールは 10m ～ 200km の 14 段階で表示します。

ぬけみち表示
ぬけみちを青色点滅で表示します。地図のスケールが 200m 以下のときに表示されます。

自宅
自宅が登録されている時に、自宅までのルートを探索し表示します。
ただしルート案内設定されている場合には表示されません。

現在地（自車）マーク
自車の現在地を表示します。
自車位置を示すマークは 1 秒間隔で非透明⇔透明を繰り返し表示します。

ステータスバー
自車位置の地点の情報を表示します。
「住所名称」、「道路名称」、「緯度経度」、「マップコード」が表示できます。
（→ P33）「地図中心位置の情報について」

[メニュー]
[メニュー] をタッチすると、「メニュー画面」に切り替わります。
（→ P36）「メニュー画面を表示する」

メモ

- 初めてお使いになる際には、GPS 衛星の測位に時間がかかる場合がございます。
- 変更したスケールは、ナビゲーションを終了して再起動しても、前回のスケールで地図を表示します。
- 現在地マークは、実際の現在地からずれる場合があります。
- GPS 信号の受信状態が悪く、自車位置を測位できないときは、前回終了時の位置を表示します。

地図スクロール画面

地図スクロール画面は、地図を動かすときに表示される地図画面です。

1 地図上の見たい地点をタッチする

タッチした地点を中心とした地図が表示されます。

［現在地］
現在地画面を表示します。

操作メニュー

［周辺検索］
中心地（センターマーク）の周囲の施設を検索します。

［地点登録］
中心地（センターマーク）の位置を登録します。

［ここへ行く］
中心地（センターマーク）の位置を目的地としてルートを検索します。

メモ

- 地図をタッチしたまま移動すると、タッチした位置をつかんだ状態で地図を移動できます。
- ドラッグ状態になると地図中心カーソルの色が「白色の地にオレンジ色の枠」で表示されます。
- 画面を触り続けると、地図を連続スクロールします。動かしたい方向を触り続けてください。

注意

- 「ドラッグ」から「連続」､「連続」から「ドラッグ」へのスクロールモードの変更はできません。

ドラッグスクロール

地図をタッチしたまま移動すると、地図中心カーソルの「マーク」の色が変わり、タッチした場所をつかんだ状態で地図の移動ができるようになります。

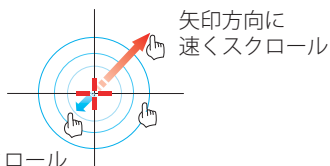
ドラッグスクロールカーソル
「オレンジ色」のカーソルが表示されます

メモ

- ドラッグスクロールから連続スクロールには変わりません。

連続スクロール

地図を 1 秒以上タッチし続けると、地図中心カーソルの「マーク」が変わり、地図の連続スクロールができるようになります。

連続スクロールカーソル
「白色の地にオレンジ色の枠」のカーソルが表示されます。

メモ

- 連続スクロールは、地図をタッチし続けるあいだ移動し、手を離すと止まります。
- スクロールの速さは、中心カーソルから遠い位置をタッチし続けると速く、近い位置をタッチし続けるとゆっくりになります。
- スクロールの方向は、中心カーソルからタッチしている位置の方向になります。

地図リスト画面

検索結果リスト表示
検索結果をリスト表示します。
項目をタッチすると、その施設の地図が表示され、利用できるポップアップメニューが表示されます。
項目の名称が長く表示エリアにすべて表示されていないときは、項目をタッチし続けると名称がスクロール表示されます。

名称エリア表示
検索で入力したキーワードやジャンル名などを表示します。

［ページ切り替え］
検索結果が 6 件を超えるときは、ページ切り替えボタンが利用できます。「△」をタッチすると前のページが、「▽」をタッチすると次のページが表示されます。 ボタンの間にある数字は「現在ページ数／総ページ数」を表します。

ステータスバー
検索項目の場所についての情報を表示します。「住所名称」､「道路名称」､「緯度経度」､「マップコード」が表示できます。

［並び順］
検索結果の並び替えができます。
「おすすめ順」はガイド情報付き施設を優先して表示します。
　優先順位は「ガイド情報付き施設」､「一般的な施設」､「電話帳掲載施設」となります。
「名称順」は 50 音順での並び順となります。
「近い順」は以下のような並び順となります
　〈現在地画面からの周辺検索〉現在地からの近い順となります。
　〈地図スクロール画面からの周辺検索〉中心カーソル地点から近い順となります。
※このボタンが表示されない検索方法もあります。
※「電話帳掲載施設」は電話帳データの一部施設が検索対象となります。

［ポップアップメニュー］
「ここへ行く」､「地点登録」､「地図表示」､「詳細情報」などのボタンが表示されます。

文字入力画面

[文字送り]
文字入力エリアのカーソル位置を左右に移動できます。

[1 字消去]
カーソル位置の 1 文字が削除されます。

[全消去]
文字入力エリアに表示されている文字が全て消去されます。

文字入力エリア
キーボードで入力した文字が表示されます。

[キーワード追加]
文字入力エリアに「&」マークが表示され、入力した複数のキーワードを AND 条件で検索できます。キーワードは 3 つまで入力できます。

[入力切り替え]
[ひらがな]、[カタカナ]、[英文字]、[数字]をタッチすると、各入力用のキーボードが表示されます。
[A/a ゜ ゛] をタッチすると、カーソル前の文字を「小文字」、「濁音・半濁音」に変更することができます。

[変換]
入力したひらがなやカタカナをかな漢字変換できます。

[現在地]
現在地画面が表示されます。

キーボード
入力切り替えモードに合わせたキーボードが表示されます。

[決定]
かな漢字変換中の文字を決定したり、キーワード検索を開始することができます。

[メニュー]
ナビゲーションメニュー画面が表示されます。

[戻る(⮌)]
検索メニュー画面が表示されます。

[索引指定]
入力したキーワードをどの索引で検索するかを指定できます。

おまかせ：　入力された文字を「駅名称」、「住所」、「ジャンル名称」、「キーワード」の順に検索します。
住所：　入力された文字を「住所」から検索します。
ジャンル：　入力された文字を「ジャンル名称」から検索します。
キーワード：入力された文字を「キーワード」から検索します。

入力モード画面

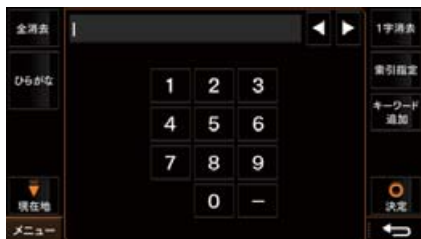
キーワード入力画面

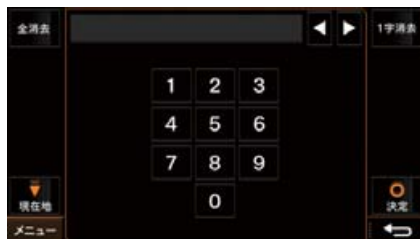
ひらがな入力モード

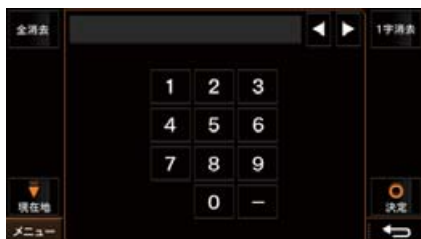
カタカナ入力モード

英文字（大文字）入力モード

英文字（小文字）入力モード

電話番号入力画面

電話番号入力モード

マップコード入力画面

マップコード入力モード

まっぷるコード入力画面

まっぷるコード入力モード

地図のスケールを変える

地図のスケールは 10m 〜 200km の範囲で変えることができます。(場所により、ご希望のスケールで表示されないことがあります。)
ナビゲーションを終了しても、前回のスケールが記憶されています。

1 [縮尺表示(100m)] をタッチする

縮尺変更ボタンが表示されます。

2 [+]・[−] をタッチする

タッチするたびに 10m、25m、50m、100m、200m、500m、1.0km、2.5km、5.0km、10km、20km、50km、100km、200km と地図のスケールが変わります。

3 [縮尺表示(100m)] をタッチする

縮尺変更ボタンが消去されます。

メモ

- [+] または [−] をタッチし続けると、地図のスケールが連続的に変わります。
- 10 秒間操作がなければ、縮尺変更ボタンは自動的に消去されます。

地図画面の表示について

地図表示の向きについて

進行方向が常に上にくるように地図が回転するヘディングアップ(走行方向)と、常に北を上に表示するノースアップ(北上固定)の表示を選ぶことができます。
地図表示の向きを変えるときは、方位表示をタッチしてください。方位表示をタッチするごとに、ヘディングアップ→ノースアップの順に切り替わります。

1 地図方位をタッチして、ヘディングアップとノースアップを切り替える

〈ヘディングアップ〉

〈ノースアップ〉

地図画面の配色について

地図画面の配色を昼モード / 夜モード / 外モード / オートで選ぶことができます。夜モードは夜間移動時、昼モードは明るい場所を移動時、外モードは屋外での使用時に適切な配色になっています。移動する場所、時間に合わせて画面の配色を設定してください。オートに設定すると、地域と時刻を元に自動的に配色を切り替えます。

〈昼モード〉

〈夜モード〉

〈外モード〉

メモ

- 地図画面の配色を変更するときは、(→ P73)「地図の配色を変更する」を参照してください。

地図画面の文字サイズについて

地図画面の文字サイズを普通 / でっか字 / もっとでっか字で選ぶことができます。普通は通常利用を想定したサイズ、でっか字は普通の約 1.3 倍の文字サイズ、もっとでっか字は普通の約 1.5 倍の文字サイズになっています。お好みに合わせて文字サイズを設定してください。

〈普通〉

〈でっか字〉

〈もっとでっか字〉

メモ

- 地図画面の文字サイズを変更するときは、(→P75)「地図の文字サイズを変更する」を参照してください。
- 大きくなるのは地図上の文字のみです。

地図中心位置の情報について

地図画面のステータスバーに地図中心位置の情報を住所名称 / 道路名称 / 緯度経度 / マップコードから選ぶことができます。

〈住所名称〉

〈道路名称〉

〈緯度経度〉

〈マップコード〉

メモ

- 地図画面の地図中心位置の情報を変更するときは、(→ P86)「現在位置を設定する」を参照してください。
- 「道路名称」を設定しても、道路により住所が表示されることがあります。

登録地・自宅のアイコンについて

登録地・自宅のアイコンを地図に表示することができます。

登録地点　自宅

メモ

- スケールにより、表示されないアイコンがあります。
- 地点を登録するときは、(→ P68)「現在地を地点登録する」を参照してください。
- 自宅や地点を登録すると、地図にアイコンで自宅や登録地点が表示されます。

走行軌跡について

走行した軌跡を●で地図上に表示します。

走行軌跡

メモ

- 走行軌跡は、古い順から削除されます。
- 突然電源が落ちてしまうなどナビアプリケーションが不正に終了しますと、走行軌跡の情報が正しく保存されないときがあります。
- 地図設定の「走行軌跡表示を設定する」により、走行軌跡を表示 / 非表示の切り替えができます。(→ P77)
- 環境設定の「設定を初期化する」にて、設定の初期化を行うと走行軌跡は消去されます。(→ P91)

道路・鉄道の表示について

道路、鉄道は地図上に以下のように表示されます。

線	名称
	高速道路、有料道
	国道
	主要地方道
	都道府県道
	一般道
	一般道(街路)
	ぬけみち道路
	JR 線
	私鉄線

地図記号一覧

記号	名称	記号	名称	記号	名称
	高速 IC		空港		ホテル・旅館
	高速 JCT		踏切		マンション
	高速 SA		一般道休憩施設		工場
	高速 PA		道の駅		発電所 / 変電所
	料金所		駐車場		NTT
	信号機		トイレ		山
	都市高速番号		デパート		滝
	国道番号（1・2 桁）		スーパーマーケット		オートキャンプ場
	国道番号（3 桁）		警察署		海水浴場
	県道番号（1・2 桁）		交番・駐在所		ゴルフ場
	県道番号（3 桁）		消防署		スキー場
	県道番号（4 桁）		消防分署		名水
	一方通行		普通郵便局		温泉
	都道府県庁		特定郵便局		日帰り湯
	市区役所		学校		神社
	町村役場		幼稚園		寺院
	一般施設		保育園		キリスト教会
	観光施設		病院		墓地

企業アイコン例

記号	名称	例
	ガソリンスタンド	
	コンビニエンスストア	
	ファミリーレストラン	

記号	名称	例
	ファーストフード店	
	銀　行	

※記号やマークは、スケールによって表示されない場合があります。
※実際の色と異なる場合があります。

ルート案内時のアイコン例

	出発地点
	案内終了地点（目的地付近の道路）
	目的地（探索を行った地点）
	経由地（1 番目）
	経由地（2 番目）
	誘導ポイント

「メニュー画面」を表示する

[メニュー] をタッチすると「メニュー画面」が表示されます。

▼

[検索]　（→ P38 ～ P55）検索メニュー画面を表示します。
「フリーワード」、「住所」、「施設」、「電話番号」、「周辺施設」、「コード入力」などの検索ができます。

[ルート]　（→ P56 ～ P67）ルートメニュー画面を表示します。
「ルート編集」、「ルート消去」、「ルートデモ」が利用できます。

[登録地点]　（→ P68 ～ P72）「登録した地点」または「自宅」が表示します。

[自宅]　（→ P55）登録した「自宅」へ帰るルートを探索します。

[履歴]　（→ P54）過去にルート案内した地点を表示します。

[設定]　（→ P73 ～ P91）地図、案内、環境を設定します。

[現在地]　（→ P37）現在地を表示します。

[戻る]　このメニュー画面が表示される前の地図画面（現在地、スクロール、案内のいずれか）に戻ります。

各設定画面の基本操作

リスト表示の画面操作

リストの項目を画面に表示しきれないときは、スクロールボタンが画面に表示されます。
スクロールボタンにタッチすると、リストを上下にスクロールします。
画面右中央には表示中のリストのページが(現在のページ数/全体のページ数)で表示されます。

［スクロール］ボタン

キーボード表示の画面操作

フリーワード検索を行う場合、登録地点に名称を付けたり、編集する場合、キーボード画面が表示されます。
地図画面から地点登録する場合には、住所の一部が表示されます。

キー

［現在地］

各メニュー画面で、**［現在地］** をタッチすると、入力または選択した内容をキャンセルして「現在地画面」を表示します。

［戻る( )］

各画面で、**［戻る( )］** をタッチすると、入力または選択した内容をキャンセルして、前の画面に戻ります。

地図画面で探す

地図画面をタッチして、地図上で場所を探します。

1 地図画面で地図上をタッチする

▼

センターマーク(スクロール画面の中心地)が表示されます。

2 地図上のタッチを繰り返して地図をスクロールさせ、探したい場所をタッチして画面の中心に合わせる

3 [ここに行く] をタッチする

[周辺検索] 中心地(センターマーク)の周囲の施設を検索します。

[地点登録] 中心地(センターマーク)の位置を登録します。

[ここへ行く] 中心地(センターマーク)の位置を目的地または経由地としてルートを検索します。

4 [案内開始] をタッチする

[おすすめ]:有料道路を含む幹線道路を利用し、直進を優先したルートを探索します。

[有料優先]:有料道路をなるべく利用したルートを探索します。

[一般優先]:有料道路をなるべく利用しないルートを探索します。

[距離優先]:有料道路を含む幹線道路の走行距離ができるだけ短くなるルートを探索します。

[案内開始]:探索したルートの案内を開始します。

フリーワードで探す

いくつかの単語を入力して、宿泊施設やレジャー施設などを探すことができます。

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［検索］をタッチする

3 ［フリーワード］をタッチする

4 キーボードで名称を入力する

［あ］～［ん］、［-］、［␣］：「あ」～「ん」までの文字とハイフン、スペースを入力します。
［1 字消去］：入力した文字を一文字削除します。
［全消去］：入力した文字を全て削除します。
切換え（初期は［カタカナ］が表示）：ボタンをタッチするとキーボードが「ひらがな」→「カタカナ」→「英・字」→「数字」→「ひらがな」の順に切り替わります。
［A / a ゜ ゛］：大文字の切り替え、濁点、半濁点を付けます。
［決定］：入力した文字が正しければタッチします。

［**変換**］をタッチして漢字に変換します。

▼

変換された漢字を決定するために［**決定**］をタッチします。

▼

5 決定した名称で検索するために、[決定] をタッチする

▼

入力した名称の検索結果がリストで表示されます。

6 リストから場所をタッチする

ポップアップメニューが表示されます。

7 [ここへ行く] をタッチする

[詳細情報]：選択した施設の詳細情報を表示します。
[地図表示]：選択した施設をセンターに配置し、地図を表示します。
[地点登録]：選択した施設を地点登録します。
[ここへ行く]：選択した施設を目的地または経由地として、現在地からルートを検索します。

▼

ルートが表示されます。

8 [案内開始] をタッチする

[おすすめ]：有料道路を含む幹線道路を利用し、直進を優先したルートを探索します。
[有料優先]：有料道路をなるべく利用したルートを探索します。
[一般優先]：有料道路をなるべく利用しないルートを探索します。
[距離優先]：有料道路を含む幹線道路の走行距離ができるだけ短くなるルートを探索します。
[案内開始]：探索したルートの案内を開始します。

▼

ルート案内が開始されます。

メモ

- 経路を検索するモードは､｢おすすめ｣､｢有料優先｣､｢一般優先｣､｢距離優先」の 4 種類の中から選択することができます。(→ P56)｢ルートを探索する｣

「フリーワード」検索をよりうまく使う

フリーワード検索は、複数（最大 3 個まで）のワードを指定して絞り込み検索することができます。
また、検索条件を指定して絞り込むこともできます。

複数ワードで検索する

［**キーワード追加**］を押して、他の単語を入力できるようにします。

▼

入力したい単語がある場合は、新たな単語を入力します。

▼

漢字に変換し、変換が正しければ決定します。

▼

再度、入力したい単語がある場合は、［**キーワード追加**］を押した後、新たな単語を入力します。

▼

探したいものが明確な時は、索引指定の「住所」、「ジャンル」、「キーワード」を指定しますと、欲しい検索結果が得られやすくなります。

項目	内容
おまかせ	入力ワードの内容に応じ「**自動**」で検索方法を選択します。
住所	住所から検索を行います。
ジャンル	ジャンルから検索を行います。
キーワード	施設の名称や施設にあるまっぷるマガジンのガイド記事から検索を行います。

1 ワードと複数ワード検索の違いについて

1 つの名称のみを入れる 1 ワード検索では、本機内データから「キーワード」→「ジャンル名称」→「住所」→「駅」の順で検索を行っていきます。複数ワードの場合は「駅」→「住所」→「ジャンル名称」→「キーワード」の順で検索が行われます。
したがって、複数ワード検索を行うと上位に駅名が表示されることが多くなります。

メモ

- ［キーワード追加］は 2 回まで使えます。
- ［索引指定］を押すと、入力したキーワードを「おまかせ」、「住所」、「ジャンル」、「キーワード」から検索することができます。

ひらがな検索に対応

「よみ」検索に対応しました。

例：「とうきょうたわー」と入力しても検索できます。

通称名での検索に対応

「通称名」での検索に対応しています。

例：正式名称は「サンシャイン国際水族館」ですが「サンシャイン水族館」でも検索できます。

「変換」が必要な文字は短い単位で入力、変換する

一般的なパソコンと比較すると、かな漢字変換用の辞書は小さいものとなります。
一度に長い文字を変換をしますと意図しない結果となることがあります。文字は短い単位で変換するようにお願いします。

位置情報が低精度と表示されたときには

フリーワードにて検索された地点が施設の実際地点と離れているときや、市区町村役場など地域の代表地点となったとき「この地点の位置情報は低精度です。」と表示されます。

このようなときは、地図をスクロールさせて目的地を修正するなどしてください。

住所で探す

住所で場所を探します。番地または号まで入力して探すことができます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [検索] をタッチする

3 [住所] をタッチする

4 「都道府県」をタッチする

5 表示されている「あ行」〜「わ行」を、タッチし、「市区町村」をタッチする

6 表示されている「あ行」〜「わ行」を、タッチし、「町名」をタッチする

メモ

- 該当する地域の無い行は表示されません。

7 「テンキー」をタッチする

丁目、番地、号はテンキーを使って入力します。

▼

▼

▼

8 ［ここへ行く］をタッチする

［地図表示］：選択した住所をセンターに配置し、地図を表示します。
［地点登録］：選択した住所を地点登録します。
［ここへ行く］：選択した住所を目的地または経由地として、現在地からルートを検索します。

▼

ルートが表示されます。

メモ

- 丁目～号の住所にて文字を含む住所がある場合は、テンキーが表示されません。
- 号までの地図情報がない場合は､「号」が表示されません。

9 ［案内開始］をタッチする

［おすすめ］：有料道路を含む幹線道路を利用し、直進を優先したルートを探索します。
［有料優先］：有料道路をなるべく利用したルートを探索します。
［一般優先］：有料道路をなるべく利用しないルートを探索します。
［距離優先］：有料道路を含む幹線道路の走行距離ができるだけ短くなるルートを探索します。
［案内開始］：探索したルートの案内を開始します。

メモ

- 自宅を選択した場合は、10 秒程度でルート案内画面に切り替ります。

施設で探す

目的の場所をジャンルから探すことができます。

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［検索］をタッチする

3 ［施設］をタッチする

4 ［ジャンル］をタッチする

▼

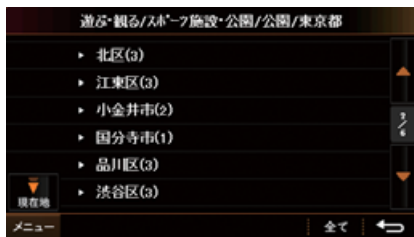
▼

選んだジャンルの検索結果がリスト表示されます。

メモ

- ジャンルによっては［全て］が表示されます。［全て］をタッチすると表示された項目に登録されている施設名が全て表示されます。

5 「都道府県」をタッチする

6 「市区町村」をタッチする

7 リストから目的の施設をタッチし、[ここへ行く] をタッチする

メモ

- 施設のリストは [**名称順**]、[**近い順**] をタッチして並び替えることができます。

8 [案内開始] をタッチする

[**おすすめ**]：有料道路を含む幹線道路を利用し、直進を優先したルートを探索します。
[**有料優先**]：有料道路をなるべく利用したルートを探索します。
[**一般優先**]：有料道路をなるべく利用しないルートを探索します。
[**距離優先**]：有料道路を含む幹線道路の走行距離ができるだけ短くなるルートを探索します。
[**案内開始**]：探索したルートの案内を開始します。

「ベストドライブスポット」を検索する

昭文社「ベストドライブ」掲載の情報が、「**ベストドライブスポット**」として「施設」から検索できます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [検索] をタッチする

3 [施設] をタッチする

4 ページ切り替えの[▼]をタッチして施設を「2/2」にし、「**ベストドライブスポット**」をタッチする

各地域が表示されます。お探しの地域を更にタッチして、検索してください。

電話番号で探す

探す場所の電話番号を入力して探すことができます。

1 [**メニュー**]をタッチする

2 [**検索**]をタッチする

3 [**電話番号**]をタッチする

4 「数字」をタッチして電話番号を入力する

[◀]、[▶]：カーソルを位置を左右に移動します。
[1 字消去]：入力した数字を一文字削除します。
[全消去]：入力した数字を全て削除します。

▼

入力した電話番号の検索結果がリストで表示されます。

5 目的の施設をタッチしてから、[ここへ行く] をタッチする

6 [案内開始] をタッチする

[**おすすめ**]：有料道路を含む幹線道路を利用し、直進を優先したルートを探索します。
[**有料優先**]：有料道路をなるべく利用したルートを探索します。
[**一般優先**]：有料道路をなるべく利用しないルートを探索します。
[**距離優先**]：有料道路を含む幹線道路の走行距離ができるだけ短くなるルートを探索します。
[**案内開始**]：探索したルートの案内を開始します。

メモ

- 電話帳および昭文社の施設データより検索をおこないます。
  個人宅の電話番号はデータに収録されておりません。
- 市外局番から必ず入力してください。
- 市外局番、市内局番の間に [-] を入れても、入れなくても検索できます。

周辺の施設を探す

レストランやガソリンスタンドなど、現在地やスクロール先の周辺施設を近い順序に表示できます。

1 ［メニュー］をタッチする

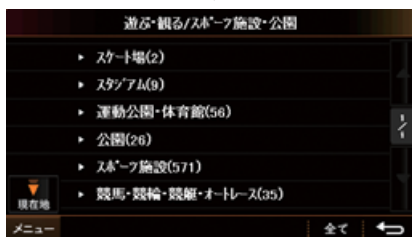
2 ［検索］をタッチする

3 ［周辺施設］をタッチする

4 検索するジャンルをタッチする

▼

▼

▼

選んだジャンルの検索結果がリスト表示されます。

5 リストから目的の施設をタッチし、［ここへ行く］をタッチする

6 ［案内開始］をタッチする

［**おすすめ**］：有料道路を含む幹線道路を利用し、直進を優先したルートを探索します。
［**有料優先**］：有料道路をなるべく利用したルートを探索します。
［**一般優先**］：有料道路をなるべく利用しないルートを探索します。
［**距離優先**］：有料道路を含む幹線道路の走行距離ができるだけ短くなるルートを探索します。
［**案内開始**］：探索したルートの案内を開始します。

マップコードで探す

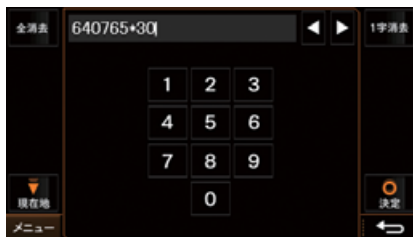
探す場所のマップコードを入力して探すことができます。
「マップコード」とは地図上の位置を簡単に特定できるコードナンバーです。
マップコードは雑誌やウェブに記載されています。

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［検索］をタッチする

3 ［コード入力］をタッチする

4 ［マップコード］をタッチする

5 マップコードを入力する

［◀］、［▶］：カーソルを位置を左右に移動します。
［**1字消去**］：入力した数字を一文字削除します。
［**全消去**］：入力した数字を全て削除します。

6 ［決定］をタッチする

7 ［ここへ行く］をタッチする

8 ［案内開始］をタッチする

［**おすすめ**］：有料道路を含む幹線道路を利用し、直進を優先したルートを探索します。
［**有料優先**］：有料道路をなるべく利用したルートを探索します。
［**一般優先**］：有料道路をなるべく利用しないルートを探索します。
［**距離優先**］：有料道路を含む幹線道路の走行距離ができるだけ短くなるルートを探索します。
［**案内開始**］：探索したルートの案内を開始します。

まっぷるコードで探す

まっぷるコードから場所を探すことができます。下記の「MG コード / クチコミ No./ まっぷるコード」とは昭文社出版物に掲載されているオリジナルコードです。

昭文社発行の地図やガイドブックを見ながら、掲載されている観光施設やお店の番号を入力して検索する事が出来ます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [検索] をタッチする

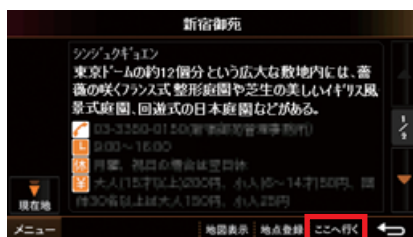
3 [コード入力] をタッチする

4 [まっぷるコード] をタッチする

5 まっぷるコードを入力する

[◀]、[▶]：カーソルを位置を左右に移動します。
[1 字消去]：入力した数字を一文字削除します。
[全消去]：入力した数字を全て削除します。

6 [決定] をタッチする

7 [ここへ行く] をタッチする

8 ［案内開始］をタッチする

［おすすめ］：有料道路を含む幹線道路を利用し、直進を優先したルートを探索します。
［有料優先］：有料道路をなるべく利用したルートを探索します。
［一般優先］：有料道路をなるべく利用しないルートを探索します。
［距離優先］：有料道路を含む幹線道路の走行距離ができるだけ短くなるルートを探索します。
［案内開始］：探索したルートの案内を開始します。

メモ

- 出版物の刊行時期とナビゲーションの収録データ整備時期が異なるため、施設によっては検索できないものもあります。
- 詳細情報に表示される金額や時間は変更されることがあります。

登録した場所（登録地点）から探す

登録されている場所（登録地点・自宅）から探すことができます。

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［登録地点］をタッチする

3 リストから目的地または自宅をタッチし、［ここへ行く］をタッチする

4 ［案内開始］をタッチする

［おすすめ］：有料道路を含む幹線道路を利用し、直進を優先したルートを探索します。
［有料優先］：有料道路をなるべく利用したルートを探索します。
［一般優先］：有料道路をなるべく利用しないルートを探索します。
［距離優先］：有料道路を含む幹線道路の走行距離ができるだけ短くなるルートを探索します。
［案内開始］：探索したルートの案内を開始します。

検索履歴から探す

過去に検索した地点から探すことができます。

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［履歴］をタッチする

3 リストの履歴の地点をタッチし、
［ここへ行く］をタッチする

履歴についているアイコンは、以下のことを示しています。

- ：過去にルート案内を行った目的地を示します。
- ：過去に検索を行った施設 / 住所を示します。
- ：過去にマップコード検索を行った地点を示します。

4 ［案内開始］をタッチする

［おすすめ］：有料道路を含む幹線道路を利用し、直進を優先したルートを探索します。
［有料優先］：有料道路をなるべく利用したルートを探索します。
［一般優先］：有料道路をなるべく利用しないルートを探索します。
［距離優先］：有料道路を含む幹線道路の走行距離ができるだけ短くなるルートを探索します。
［案内開始］：探索したルートの案内を開始します。

メモ

- 検索履歴は 50 件まで履歴を残すことができます。

自宅に帰る

現在地から自宅までのルートを探すことができます。（事前に自宅登録が必要になります（→P68 ～ P69））

1 ［自宅］をタッチする

メニューが表示されているときは、メニューの［自宅］をタッチする

▼

自宅までのルートが表示されます。

2 ［案内開始］をタッチする

メモ

- ［案内開始］を押さずにいると、10 秒程度でルート案内画面に切り替ります。

ルートを探索する

目的地を探して［**ここへ行く**］をタッチすると現在地から目的地までのルートが探索されます。

1 目的地を探す

地図画面で探す→ P38
フリーワードで探す→ P39
住所で探す→ P43
施設で探す→ P45
電話番号で探す→ P47
周辺施設で探す→ P49
マップコードで探す→ P50
まっぷるコードで探す→ P52
登録地点・自宅で探す→ P53
履歴で探す→ P54

メモ

- 既に出発地・目的地が設定されているときに「ルート編集画面」を表示するには、［**メニュー**］をタッチし、メニュー画面の［**ルート**］をタッチし、ルート画面の［**ルート編集**］をタッチします。

2 ［ここへ行く］をタッチする

▼

［**キャンセル**］をタッチした場合は、1 つ前の画面の戻ります。

3 「ルート探索条件」をタッチする

［**おすすめ**］：有料道路を含む幹線道路を利用し、直進を優先したルートを探索します。
［**有料優先**］：有料道路をなるべく利用したルートを探索します。
［**一般優先**］：有料道路をなるべく利用しないルートを探索します。
［**距離優先**］：有料道路を含む幹線道路の走行距離ができるだけ短くなるルートを探索します。

メモ

- 選択されているルートは、一般道がオレンジ色、有料道路が水色、道幅が狭い道路が紫色で表示されます。無料の自動車専用道路は一般道と同じオレンジで表示されます。

4 ［案内開始］をタッチする

［案内開始］：選択した施設までのルートを探索します。（→ P59）「ルート案内を開始する」

［戻る］：［ここへ行く（ ）］をタッチした時の画面に戻ります。

ルート情報

［距離（ ）］：行き先（目的地）までの距離を表示します。

［時間（ ）］：行き先（目的地）到着までのおよその時間を表示します。

メモ

- ルート確認画面の地図はルート全域が入るスケールでノースアップ表示します。
- 「時間」は、各案内モードの基準値から算出して表示します。誘導を開始すると、順次更新致します。

ルートを編集する

案内中のルートに経由地を追加したり、案内中の経由地の順序を入れ替えることができます。

経由地の追加

目的地を設定して、案内開始した後に、経由地を最大２箇所追加できます。

注意

- 案内開始を行う前には、経由地を追加することはできません。案内開始前に経由地を追加しようと検索や地図スクロールなどで場所を探し出して経由地として設定しようとしても目的地として設定されます。

1 目的地を設定し、［案内開始］をタッチする

2 経由したい場所を探し、［ここへ行く］をタッチする

経由地に設定したい場所は、地図スクロール、検索、登録地点、履歴から探し出せます。

3 ［経由地］をタッチする

ルート編集が表示されます。

4 ［再検索］をタッチする

新しいルートが探索されます。

5 ［案内開始］をタッチする

注意

- 経由地を更に１箇所追加し、経由地を２箇所にすることができます。ただし、経由地を更に１箇所追加する前にも必ず案内開始後に行ってください。案内開始を行う前に、更に経由地を追加しようとすると先の経由地の設定は消えてしまいます。

経由地の変更

1 ルートを探索し、案内を開始する

2 ［メニュー］をタッチし、［ルート編集］をタッチする

▼

3 変更したい場所をタッチする

4 ［削除］をタッチし場所を削除または［↑］［↓］をタッチし場所を移動する

一番下まで移動すると、目的地になります。

▼

5 経由地を追加したい場合は、［メニュー］をタッチする

▼

メニューが表示されます。

メニューの［検索］、［登録地点］、［履歴］から経由地を追加できます。

6 [案内開始] をタッチする

[案内開始] センターマークの地点を目的地に設定し、案内を開始します。
[変更完了] センターマークの地点を変更した項目に設定します。
[周辺検索] センターマークの周辺施設を検索します。
[地点登録] センターマークの地点を登録します。
[戻る] ひとつ前の表示に戻ります。
[現在地] 現在地が表示されます。

注意

- ルートデモを行うには、案内開始 をタッチしてからメニュー →ルート →ルートデモ をタッチしてください。
また、デモ からも開始できますが、その場合ルート情報が確定されておりませんので、十分にご注意ください。

ルート案内を開始する

ルートが決まったら、ルート案内を開始します。

設定したルート案内を開始する

1 [案内開始] をタッチする

案内が開始されます。

2 [メニュー] をタッチし、[ルート] をタッチする

3 [ルート編集] をタッチする

▼

「ルート編集」が表示されます。

4 [再検索] をタッチする

5 [案内開始] をタッチする

ルートをデモ走行する

探索したルートをデモ走行し、事前に確認することができます。

1 [メニュー] をタッチし、[ルート] をタッチする

2 [ルートデモ] をタッチする

▼

「ルート探索結果画面」が表示されます。

3 [はい] をタッチする

デモ走行を開始します。

メモ

- デモ走行の際に、地図のスケールを変更すると、一定時間に移動する距離も変わってきます。従って、デモ走行を速く進めたいときは [−] をタッチして地図のスケールを大きくしてください。デモ走行をゆっくりと進めたいときは [+] をタッチして地図のスケールを小さくしてください。

注意

- ▮▶デモ からも開始できますが、その場合ルート情報が確定されておりませんので、十分にご注意ください。

ルートを削除する

探索したルートを削除します。

1 [メニュー] をタッチし、[ルート] をタッチする

2 [ルート消去] をタッチする

▼

消去を確認する画面が表示されます。

3 [はい] をタッチする

[いいえ] をタッチした場合は、ルート削除を中止し、「前画面」に戻ります。

4 [OK] をタッチする

▼

目的地、出発地、経由地が削除され、ルートが削除されます。

ルート案内中の案内について

ルート案内を開始すると、「ルート案内画面」が表示され、画面と音声で目的地まで設定したルートで誘導が行われます。

一般道路案内表示

通過施設情報表示
通過する施設（交差点など）の名称、レーン情報を表示します。
名称が整備されていない施設は「通過交差点」と表示します。

誘導施設名称
次に誘導する施設（交差点など）の名称が表示されます。
＊名称が整備されていない施設は「案内地」と表示されます。

施設距離
次に誘導する施設までの距離が表示されます。

［メニュー］
［メニュー］をタッチすると、「メニュー画面」に切り替わります。
（→ P36）「メニュー画面を表示する」

誘導情報
曲がる方向を示す案内矢印や料金所などの施設アイコンを表示します。

ステータスバー
目的地までの距離、到着予想時刻、現在位置の情報を表示します。道路データベースに道路名がある場合にはその名称が表示されます。
現在位置の情報として「住所名称」、「道路名称」、「緯度経度」、「マップコード」が表示できます。

案内ルート
案内中のルートを道路上に色で表示します。
一般道路：オレンジ色
有料道路：水色
細街路：紫色
ぬけみち：水色点滅

交差点拡大図表示
案内地点の交差点を拡大して表示します。拡大地図、自車位置、道路、案内するルート、アイコン類が表示されます。

距離ゲージ
案内地点までの距離を最大 300m のゲージで表示します。

［交差点拡大図消去］
［×］をタッチすると、交差点拡大図の表示が消えます。
交差点拡大図を表示するときは、「誘導施設名称」または「施設距離」をタッチします。

高速道路案内表示

誘導施設名称表示
次に誘導する施設の名称が表示されます。
名称が整備されていない交差点や IC は「案内地」と表示します。
名称が整備されていない料金所は「料金所」と表示します。

施設距離
次に誘導する施設までの距離が表示されます。

スクロールボタン
施設リストをスクロールして表示することができます。
「△」ボタンをタッチすると前の施設が、「▽」ボタンをタッチすると次の施設が表示されます。

ステータスバー
目的地までの距離、到着予想時刻、現在位置の情報を表示します。道路データベースに道路名がある場合にはその名称が表示されます。
現在位置の情報として「住所名称」、「道路名称」、「緯度経度」、「マップコード」が表示できます。
※「道路名称」がないときは「住所名称」を表示します。

施設リスト表示
施設のリストを表示します。
施設を表す情報として「パーキングエリア(PA)」、「サービスエリア(SA)」、「インターチェンジ(IC)」、「ジャンクション(JCT)」などのアイコンを表示します。
「PA」、「SA」では、施設内を表す情報として、「ガソリンスタンド」、「レストラン」、「スマート IC」などのアイコンを表示します。
「IC」、「JCT」などでは、通過予想時刻を表示します。

施設リスト現在地ボタン
自車位置からの施設リストが表示されます。

施設リスト消去ボタン
ここをタッチすると、施設リストが削除されます。

通過施設情報表示
次に通過する施設の名称、レーン情報を表示します。
料金所では ETC 機器の有無を考慮して、通行可能レーンを表示します。

イラスト表示
料金所や高速の分岐イラストなど案内地に関連するイラストを表示します。

メモ

- ステータスバーに表示される有料道路の料金は、現在 ETC 搭載の普通車に適応されている地方部の休日上限 1,000 円にも対応しておりますが、有料道路を使用する時期や時間または制度改正などにより、実際の金額と異なることがあります。
- ETC レーンガイドのイラストは、有料道路を使用する時期や時間により、実際と異なることがあります。

その他の高速道路案内

都市高速入口イラスト

昼モード

夜モード

首都高速道路や阪神高速道路など、都市高速道路の入口について、風景をイラスト表示します。
イラストは夜モードにも対応していてます。

SA/PA（サービスエリア / パーキングエリア）イラスト

高速道路を走行中にサービスエリア / パーキングエリアに近づくと、サービスエリア、パーキングエリアの施設配置についてイラスト表示します。

JCT（ジャンクション）イラスト

昼モード

夜モード

高速道路のJCT（ジャンクション）や出口など、分岐する個所を進むべき方向と共にイラスト表示します。
イラストは夜モードにも対応していてます。

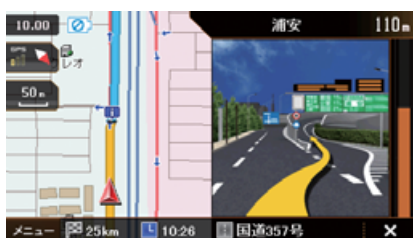
メモ

- 走行案内を開始すると、表示されていたスケールで走行案内を行います。スケールを変更すると、変更したスケールで地図を表示します。
- 走行中に有料道路を走行すると、「ハイウェイモード」に切り替わります。(→右コラム)「ハイウェイモード」
  また、地図のスケールは自動的に次のように変わります。
  　一般道から有料道路へ：200m スケール
  　有料道路から一般道へ：50m スケール
  地図のスケールを自動的に変更しない場合は、「案内設定」の「誘導時縮尺」を「自動変更しない」に変更してください。(→ P88)
- 交差点名称、レーン情報はデータが存在しない場合は表示されません。
- レーン情報は実際の標識と異なる場合があります。
- 走行案内中のルートは、一般道は黄色で表示され、有料道路は青色で表示されます。
- ルート案内中に地図上をタッチすると、「地図スクロール画面」が表示されます。音声の誘導は継続して行われます。**[現在地]** をタッチすると「ルート案内画面」に戻ります。
- 目的地に近づくと、「目的地に近づきました」と音声案内を行い、目的地に到着すると誘導を終了し、通常の地図表示画面に切り替わります。
- アイコンは 100m より詳細なスケールの場合、表示されます。
- 入り口イラストのデータがない場合は、案内図のみの表示になります。

ハイウェイモード

ルート案内時に有料道路の入り口に近づくと、自動的に「ハイウェイモード画面」に切り替わります。

入口に近づくと

有料道路の 700m 手前になると、有料道路入り口の案内を開始します。
首都高速道路や阪神高速道路など、都市高速道路の入り口については、イラストにて表示します。

メモ

- 入口イラストのデータがない場合は、右側に案内図のみ表示されます。

案内地点 2km、1km、500m 手前に近づくと

音声で案内されます。
例 :「1 キロ先、左方向出口です。」

案内地点 100m 手前に近づくと

音声にて出口や分岐が案内されます。
例 :「間もなく、左方向出口です。」

分岐名、案内地　分岐までの距離

サービスエリア / パーキングエリアに近づくと

サービスエリア / パーキングエリアの約 2 km 手前に近づくと、サービスエリア / パーキングエリア内の様子をイラストで表し、サービスエリア / パーキングエリアまでの距離ゲージが表示されます。

メモ

- 分岐イラストのデータがない場合は、分岐情報とレーン情報が表示されます。
- 分岐情報とレーン情報はデータが存在しない場合は表示されません。
- 有料道路の出口へ到達すると、自動的に通常の案内画面へ切り替わって、引続き目的地までの誘導を行います。

音声による誘導

ルート移動中は、移動中の状況に合わせて音声で案内が行われます。
案内ポイントの手前 700m、300m、間もなく（約 100m）で音声による案内が行なわれます。なお、案内ポイントから次の案内ポイントまでの距離・時間が短い場合などでは音声案内が行なわれない場合があります。

一般道路での案内例

一般道路では、移動方向（左右方向）の誘導および「目的地付近」を音声で案内します。

高速道路・有料道路での案内例

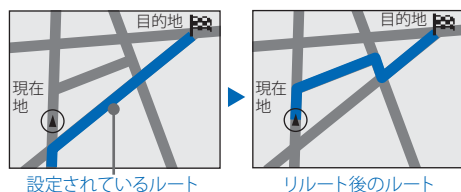
高速道路または有料道路では一般道の案内に加え、以下の案内も行います。
「料金所」、「有料入口」、「有料出口」、「分岐」、「サービスエリア」、「パーキングエリア」、「合流注意」。

メモ

- 案内される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。

オートリルートについて

誘導中のルートからはずれた場合、自動的にルートを再探索します。

設定されているルート　　リルート後のルート

メモ

- リルート機能はオートリルートのみで、手動にてリルートを行うことはできません。また、オートリルートの設定は、解除できません。
- 設定したルートの条件により、リルートに時間がかかる場合があります。
- リルート機能つきましては、上記の図のように必ずしも「最短距離」をリルート設定するものではありません。

注意

- オートリルートについては、以下の場合に発生致します。
  - ・ルート設定された道以外を走行していると判断した時。
  - ・GPS 衛星の電波を受信できなくなり、その後受信された時。
  - ・道路が近接している場合（有料道路と側道など）。

地図を使って設定 / 変更する

1 地図をスクロールさせ、探したい場所をタッチして画面の中心に合わせる

2 [**経由地**] をタッチする

▼

センターマークの地点を経由地として設定し､「ルート編集画面」に戻ります。

現在地を地点登録する

「地点登録」を使って､現在地を「登録地点」､「自宅」に登録できます。

自宅やよく行く場所を（自宅 1 件、登録地点最大 100 件まで）登録しておくと、ルート設定などの操作が簡単になります。登録する地点の名称は変更することができます。

1 登録したい場所を地図上でタッチする

2 [**地点登録**] をタッチする

▼

「自宅」が登録されてないときは､「自宅」と「地点登録」を選択するポップアップメニューが表示されます。

[**自宅**] を選ぶと、確認の画面が表示されます。

地点登録を選ぶと、地点の名称を入力する画面が表示されます。

3 地点の名称を編集する

▼

変換が正しければ決定します。

▼

名称が正しければ [**はい**] をタッチします。

4 [OK] をタッチする

検索して地点を登録する

地点の登録は、メニューの「検索」または地図スクロール画面のクイックメニューを使っても設定できます。

検索で地点を登録する

1 [**メニュー**] をタッチし、[**検索**] をタッチする

2 場所を探す項目をタッチする

3 登録する場所を探す

場所の探し方は、目的地の各メニューでの探し方と同じです。

フリーワードで探す→ P39
住所で探す→ P43
施設で探す→ P45
電話番号で探す→ P47
周辺施設で探す→ P49
マップコードで探す→ P50
まっぷるコードで探す→ P52
登録地点・自宅で探す→ P53
履歴で探す→ P54

▼
クイックメニュー付きの地図が表示されます。

4 ［**地点登録**］をタッチする

［**自宅**］が登録されていないときは、［**自宅**］と［**地点登録**］を選ぶメニューが表示されます。
地点登録を選ぶと、地点の名称を入力する画面が表示されます。名称を入力すると確認の画面が表示されます。

5 ［OK］をタッチする

メモ

- 地点の名称は、28 文字まで入力できます。
- 何も入力しない場合は住所で登録されます。名称などで登録する時は入力欄の住所をクリアしてから入力してください。

クイックメニューで地点を登録する

1 地図をスクロールさせ、登録したい場所をタッチして画面の中心に合わせる

2 ［**地点登録**］をタッチする

▼
「地点登録画面」が表示されます。
［**自宅**］が登録されていないときは、［**自宅**］と［**地点登録**］を選ぶメニューが表示されます。
地点登録を選ぶと、地点の名称を入力する画面が表示されます。名称を入力すると確認の画面が表示されます。

3 ［OK］をタッチする

登録地を編集する

自宅または登録地点を削除したり、登録地点の名称を編集することができます。

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［登録地点］をタッチする

▼

「登録地点一覧」が表示されます。

3 名称を変更または削除するときは、登録地の名称をタッチする

4 編集する項目をタッチする

［削除］を選ぶと、確認の画面が表示されます。［OK］をタッチしてください。
［編集］選ぶと、名称を変更できるようにキーボードが表示されます。

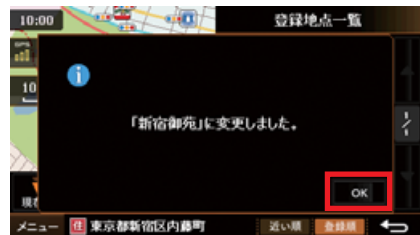
▼

キーボードが表示されます。

5 キーボードで名称の変更後、［決定］をタッチする

▼

名称が修正されたリストが表示されます。

6 ［OK］をタッチする

登録地を削除する

自宅または登録地点を削除したり、登録地点の名称を編集することができます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [登録地点] をタッチする

▼

「登録地点一覧」が表示されます。

3 削除したい登録地の名称をタッチする

4 [削除] をタッチする

5 [はい] をタッチする

6 [OK] をタッチする

ナビ設定について

メニューの「設定」を使い、用途やお好みに応じて設定を変更することにより、ナビゲーションを使いやすくすることができます。

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［設定］をタッチする

メモ

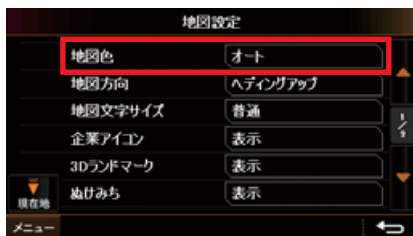
- ナビ設定では、項目を選んだ時点でその項目の内容で設定されます。
- ［現在地］をタッチすると、それまでに設定された内容で「現在地画面」に戻ります。
- ［戻る］をタッチすると、前の画面に戻ります。

地図の配色を変更する

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［設定］をタッチする

3 ［地図設定］をタッチする

4 「地図色」の項目をタッチする

［オート］：地域や時期時刻に適した配色で表示します。
［昼］：昼の移動に適した配色で表示します。
［夜］：夜の移動に適した配色で表示します。
［外］：日中の屋外での移動に適した配色で表示します。

5 ［現在地］をタッチする

▼

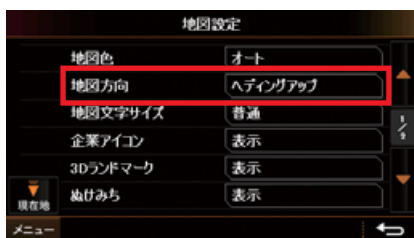
設定を終了します。

地図表示の向きを変更する

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［設定］をタッチする

3 ［地図設定］をタッチする

4 「地図方向」の項目をタッチする

［ヘディングアップ］：進行方向が常に上になるよう、地図が自動回転します。
［ノースアップ］：常に北が上になるように地図が表示されます。

5 ［現在地］をタッチする

▼

設定を終了します。

メモ

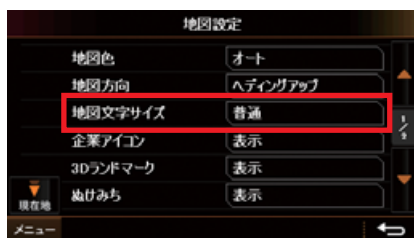
- 「ヘディングアップ」の設定で、ルート誘導中に地図をスクロールした場合はスクロール開始時の表示方向で固定したままスクロールします。［**現在地**］をタッチして「ルート誘導画面」に戻ると、ヘディングアップで表示します。

地図の文字サイズを変更する

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［設定］をタッチする

3 ［地図設定］をタッチする

4 「地図文字サイズ」の項目をタッチする

［普通］：地図の文字サイズを普通の大きさにします。
［でっか字］：地図の文字サイズを普通の約 1.3 倍の大きさの文字にします。
［もっとでっか字］：地図の文字サイズを普通の約 1.5 倍の大きさの文字にします。

5 ［現在地］をタッチする

▼

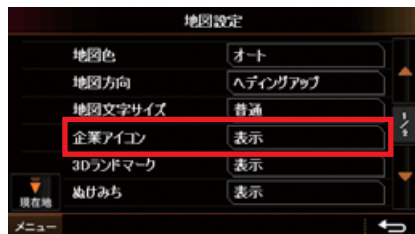
設定を終了します。

地図のアイコン表示を変更する

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［設定］をタッチする

3 ［地図設定］をタッチする

4 「企業アイコン」の項目をタッチする

［表示］：企業アイコンを表示します。
［非表示］：企業アイコンの表示を行いません。

5 ［現在地］をタッチする

▼

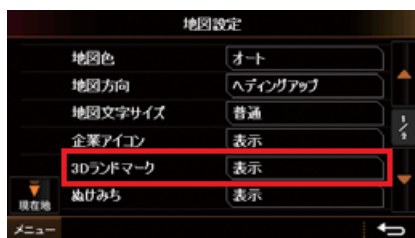
設定を終了します。

3D ランドマーク表示を設定する

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［設定］をタッチする

3 ［地図設定］をタッチする

4 「3D ランドマーク」の項目をタッチする

［表示］：3D ランドマークを表示します。
［非表示］：3D ランドマークの表示を行いません。

5 ［現在地］をタッチする

▼

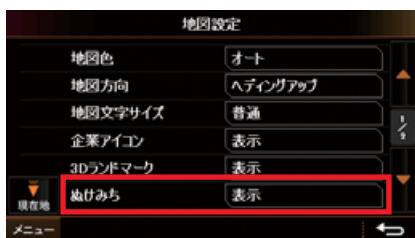
設定を終了します。

ぬけみち表示を設定する

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［設定］をタッチする

3 ［地図設定］をタッチする

4 「ぬけみち」の項目をタッチする

［表示］：地図上にぬけみちを水色点滅で表示します。
［非表示］：ぬけみちの表示を行いません。

〈ぬけみち表示〉

5 ［現在地］をタッチする

▼

設定を終了します。

メモ

- ぬけみちは、地図のスケールが 10m、25m、50m、100m、200m の場合のみ表示されます。

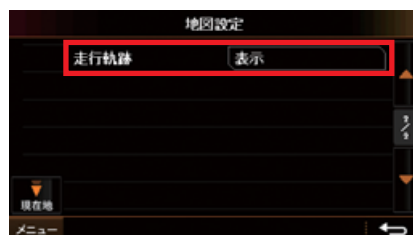
走行軌跡表示を設定する

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［設定］をタッチする

3 ［地図設定］をタッチする

4 ページ切り替えの［▼］をタッチして地図設定の「2/2」にする

5「走行軌跡」の項目をタッチする

［表示］：地図上に「●」にて走行軌跡を表示します。

［非表示］：走行軌跡の表示を行いません。

6 ［現在地］をタッチする

▼

設定を終了します。

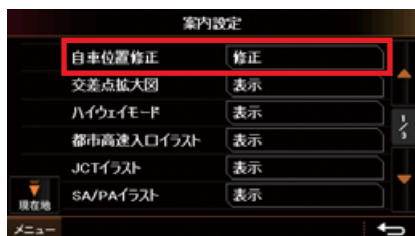
自車位置を修正する

GPSの電波を受信していない場所で、事前の旅行計画等を立てる目的で、自車位置を変更できる機能です。

1 ［**メニュー**］をタッチする

2 ［**設定**］をタッチする

3 ［**案内設定**］をタッチする

4 「**自車位置修正**」の項目をタッチする

［**修正**］：自車の位置を修正します。

注意

- 室内などGPSが受信できない環境でご利用ください。GPSが受信状態になると、GPSが示す位置に自車位置が表示されます。

5 自車位置を地図上でタッチして補正し、右上の［**決定**］をタッチする

6 ［**現在地**］をタッチする

▼

設定を終了します。

注意

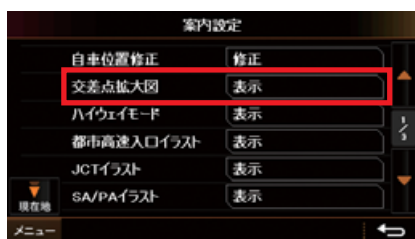
- この機能は、GPS衛星の誤作動や現在地のズレを修正する機能ではありません。

交差点拡大図表示を設定する

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［設定］をタッチする

3 ［案内設定］をタッチする

4 「交差点拡大図」の項目をタッチする

［表示］：地図上に交差点拡大図を表示します。
［非表示］：交差点拡大図の表示を行いません。

5 ［現在地］をタッチする

▼

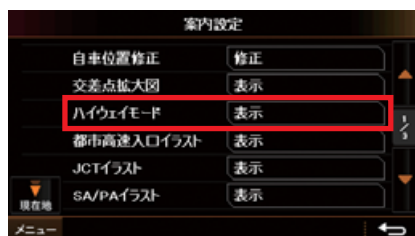
設定を終了します。

ハイウェイモード表示を設定する

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［設定］をタッチする

3 ［案内設定］をタッチする

4 「ハイウェイモード」の項目をタッチする

［表示］：地図上にハイウェイモードを表示します。
［非表示］：ハイウェイモードの表示を行いません。

5 ［現在地］をタッチする

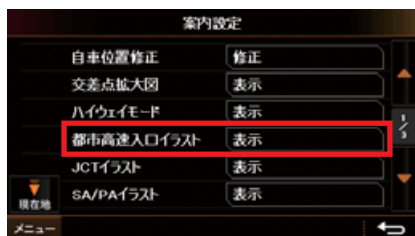
設定を終了します。

都市高速入口イラスト表示を設定する

1 [メニュー] をタッチする

2 [設定] をタッチする

3 [案内設定] をタッチする

4 「都市高速入口イラスト」の項目をタッチする

[表示]：地図上に都市高速入口イラストを表示します。
[非表示]：都市高速入口イラストの表示を行いません。

5 [現在地] をタッチする

▼

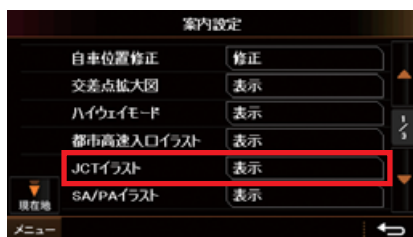
設定を終了します。

ジャンクションイラスト表示を設定する

1 [メニュー] をタッチする

2 [設定] をタッチする

3 [案内設定] をタッチする

4 「JCT イラスト」の項目をタッチする

[表示]：地図上に JCT（ジャンクション）イラストを表示します。
[非表示]：JCT（ジャンクション）イラストの表示を行いません。

5 [現在地] をタッチする

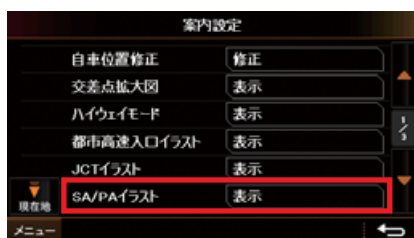
設定を終了します。

サービスエリア・パーキングエリアイラスト表示を設定する

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［設定］をタッチする

3 ［案内設定］をタッチする

4 「SA/PA イラスト」の項目をタッチする

［表示］：地図上に SA/PA（サービスエリア / パーキングエリア）イラストを表示します。
［非表示］：SA/PA（サービスエリア / パーキングエリア）イラストの表示を行いません。

5 ［現在地］をタッチする

▼

設定を終了します。

ETC レーンイラスト表示を設定する

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［設定］をタッチする

3 ［案内設定］をタッチする

4 ページ切り替えの［▼］をタッチして案内設定の「2/3」にする

5 「ETC イラスト」の項目をタッチする

［表示］：地図上に ETC レーンのイラストを表示します。
［非表示］：ETC レーンのイラストの表示を行いません。

6 ［現在地］をタッチする

▼

設定を終了します。

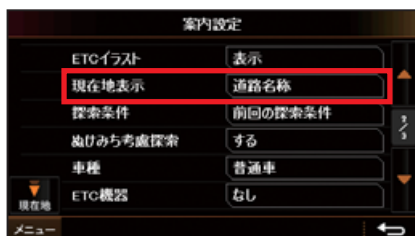
現在地表示を設定する

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［設定］をタッチする

3 ［案内設定］をタッチする

4 ページ切り替えの［▼］をタッチして案内設定の「2/3」にする

5 「現在地表示」の項目をタッチする

［住所名称］：ステータスバーに現在位置の「住所名称」を表示します。
［道路名称］：ステータスバーに現在位置の「道路名称」を表示します。道路の名称が無い場合は「住所名称」を表示します。
［緯度経度］：ステータスバーに現在位置の軽度と緯度を表示します。
［マップコード］：ステータスバーに現在位置のマップコードを表示します。

6 ［現在地］をタッチする

▼

設定を終了します。

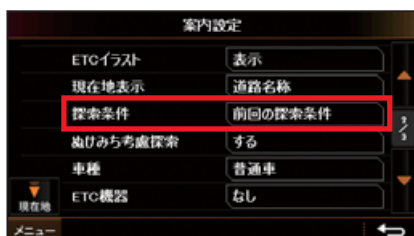
探索条件を設定する

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［設定］をタッチする

3 ［案内設定］をタッチする

4 ページ切り替えの［▼］をタッチして案内設定の「2/3」にする

5 「探索条件」の項目をタッチする

［前回の探索条件］：前回選択した条件でルートを探します。
初めて利用するときは「おすすめ」が選択されます。
［おすすめ］：有料道路と幹線道路を利用し、直進を優先したうえで、目的地までのルートを探索します。
［一般道優先］：有料道路をできる限り利用せずに、目的地までのルートを探索します。
［距離優先］：目的地までの走行距離ができる限り短いルートを探索します。

6 ［現在地］をタッチする

設定を終了します。

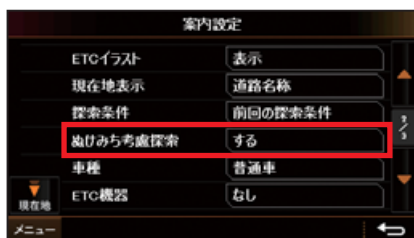
ぬけみち考慮探索を設定する

1 [メニュー] をタッチする

2 [設定] をタッチする

3 [案内設定] をタッチする

4 ページ切り替えの [▼] をタッチして案内設定の「2/3」にする

5 「**ぬけみち考慮探索**」の項目をタッチする

[する]:「ぬけみち」情報を利用したルートを探索します。
[しない]:「ぬけみち」情報を利用しないルートを探索します。

6 [現在地] をタッチする

▼

設定を終了します。

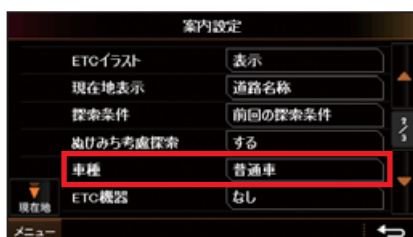
車種を設定する

1 [メニュー] をタッチする

2 [設定] をタッチする

3 [案内設定] をタッチする

4 ページ切り替えの [▼] をタッチして案内設定の「2/3」にする

5 「**車種**」の項目をタッチする

[自動二輪]:ルート上の有料道路の料金を「自動二輪」で計算します。
[軽自動車]:ルート上の有料道路の料金を「軽自動車」で計算します。
[普通車]:ルート上の有料道路の料金を「普通車」で計算します。
[中型車]:ルート上の有料道路の料金を「中型車」で計算します。

［**大型車**］：ルート上の有料道路の料金を「大型車」で計算します。
［**特大車**］：ルート上の有料道路の料金を「特大車」で計算します。

6 ［**現在地**］をタッチする

▼

設定を終了します。

メモ

- この設定をおこなってから表示される有料道路の料金は、有料道路を使用する時期や時間、ETC 機器の有無などにより、実際の金額と異なることがあります。
- 交差点にある道路標識の車両規制を考慮したルート探索をおこないます。
（規制情報は、時期や場所により異なる場合がありますので、実際の交通規制に従って運転してください。）

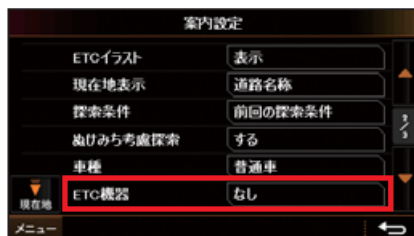
ETC 機器を設定する

1 ［**メニュー**］をタッチする

2 ［**設定**］をタッチする

3 ［**案内設定**］をタッチする

4 ページ切り替えの［▼］をタッチして案内設定の「2/3」にする

5 「**ETC 機器**」の項目をタッチする

［**あり**］：「ETC 割引」を考慮した上で、ルート上の有料道路の料金を計算します。
目的地までのルートを探索する際、ETC 専用出入口を考慮したルートを探索します。
［**なし**］：ETC 専用出入口や ETC 割引の考慮は行わずにルートを探索します。

6 [**現在地**] をタッチする

▼

設定を終了します。

メモ

- この設定を行い表示される有料道路の料金は、有料道路を使用する時期や時間、ETC 機器の有無などにより、実際の金額と異なることがあります。

現在位置を設定する

1 [**メニュー**] をタッチする

2 [**設定**] をタッチする

3 [**案内設定**] をタッチする

4 ページ切り替えの [▼] をタッチして案内設定の「3/3」にする

5 「**現在位置**」の項目をタッチする

[**有料道**]：現在の位置が、高速道路などの有料道路のときに選びます。

[**一般道**]：現在位置が、国道や県道その他の一般道のときに選びます。

6 [**現在地**] をタッチする

▼

設定を終了します。

踏切注意案内を設定する

1 [メニュー] をタッチする

2 [設定] をタッチする

3 [案内設定] をタッチする

4 ページ切り替えの [▼] をタッチして案内設定の「3/3」にする

5 「踏切注意案内」の項目をタッチする

[する]：踏切の手前で音声による注意案内をします。
[しない]：踏切の手前で音声による注意案内をしません。

6 [現在地] をタッチする

▼

設定を終了します。

注意

● 踏切によっては注意案内がされないことがあります。

合流注意案内を設定する

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［設定］をタッチする

3 ［案内設定］をタッチする

4 ページ切り替えの［▼］をタッチして案内設定の「3/3」にする

5 「合流注意案内」の項目をタッチする

［**する**］：有料道路走行時に、側道からの合流などがある場合に効果音とともに音声にて注意案内をします。
［**しない**］：注意案内をしません。

6 ［現在地］をタッチする

▼

設定を終了します。

誘導時縮尺を設定する

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［設定］をタッチする

3 ［案内設定］をタッチする

4 ページ切り替えの［▼］をタッチして案内設定の「3/3」にする

5 「誘導時縮尺」の項目をタッチする

［**自動変更する**］：一般道から有料道に入ると縮尺を「200m」に、有料道から一般道にはいると縮尺を「50m」に自動変更します。
［**自動変更しない**］：地図の縮尺を自動で変更しません。

6 ［現在地］をタッチする

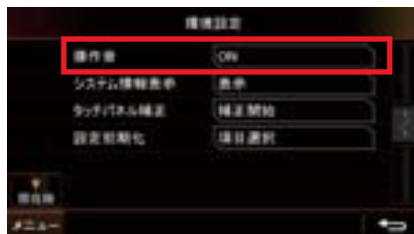
設定を終了します。

操作音を設定する

1 [メニュー] をタッチする

2 [設定] をタッチする

3 [環境設定] をタッチする

4 「操作音」の項目をタッチする

[OFF]：画面操作時のタッチ音をオフにします。
[ON]：画面操作時のタッチ音をオンにします。

メモ

- 「OFF」に設定しても、ナビゲーション以外の操作では操作音が出ます。操作音を消去したい場合は「画面と音量の設定を変更する」(→ P120)を参照してください。

5 [現在地] をタッチする

▼

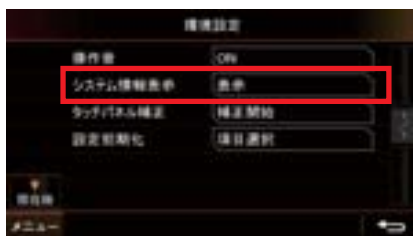
設定を終了します。

システム情報表示を設定する

1 [メニュー] をタッチする

2 [設定] をタッチする

3 [環境設定] をタッチする

4 「システム情報表示」の項目をタッチする

ナビゲーションシステムや地図データのバージョンを表示します。

5 [現在地] をタッチする

▼

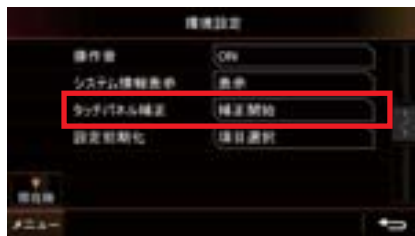
設定を終了します。

タッチパネル補正を設定する

1 [メニュー] をタッチする

2 [設定] をタッチする

3 [環境設定] をタッチする

4 「タッチパネル補正」の項目をタッチする

画面調整の画面に切り替ります。

5 画面中央のターゲット（＋）をタッチする

ターゲットをタッチすると、ターゲットは中央→左上→左下→右下→右上の順に4隅を移動しますので、順次タッチしていってください。

6 調整が完了すると、メッセージが出ますので、タッチスクリーンのどこかをタッチすると新しい設定が登録される

何もしないで30秒たつと元の設定になります。

▼

設定画面に戻ります。
調整に失敗すると、再度ターゲットが中央に表示されますので、再度調整を行ってください。

7 [現在地] をタッチする

設定を終了します。

設定を初期化する

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［設定］をタッチする

3 ［環境設定］をタッチする

4 「設定初期化」の項目をタッチする

▼

目的別に初期化する事ができます。

［地図設定］： 地図設定 をタッチして変更した内容を初期化します。

［案内設定］： 案内設定 をタッチして変更した内容を初期化します。

［登録地点］： 全ての登録地点を削除します。

［履歴］： 全ての履歴を削除します。

［走行軌跡］： 走行軌跡を削除します。

［工場出荷状態に戻す］： ナビゲーションの設定情報を全て初期化します。

5 ［現在地］をタッチする

▼

設定を終了します。

ナビゲーションのしくみ

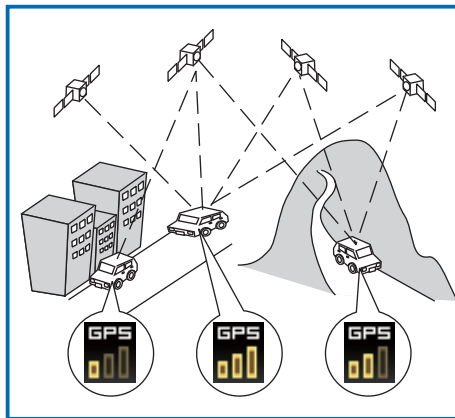
GPS による測位について

GPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）とは、GPS 衛星 からの位置測位用電波を受信して、現在地を測位することができるようにするシステムのことです。また、その測位した現在地データを利用して地図上に現在地を表示し、行き先を案内するのがナビゲーションになります。

GPS 信号の利用について

マップマッチングや自車の移動速度の判定、GPS アンテナの表示などをするにあたり、GPS の測位情報とともに GPS 信号の信頼度も利用しています。

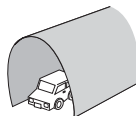
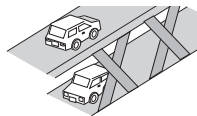
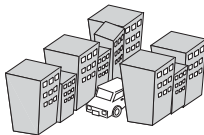
- 受信状態の表記
  - （3 本）：衛星受信数・信頼度とも高い状態
  - （2 本）：衛星受信数は多いが信頼度が低い場合
  - （1 本）：衛星受信数・信頼度とも低い場合
  - 圏外：　衛星を受信できない場合

〈GPS 信号の受信状態例〉

マップマッチングについて

GPS 衛星から受ける電波の状態や周りの遮蔽物により現在地の測位に誤差が生じることがあります。このために、自車（現在地）が道路でない場所を走行しているように見えることがあります。このようなことがおこった場合に、自車（現在地）を近くの道路戻すに機能をマップマッチングと呼びます。

マップマッチングしている場合

誤差について

特に、下記のような場合、遮蔽物などにより、GPS 衛星から電波が弱められます。そのため、位置即位に誤差が大きく出たり、測位が不可能になる場合があります。

トンネルの中やビルの駐車場

2層構造の高速道路の下

高層ビルの群集地帯

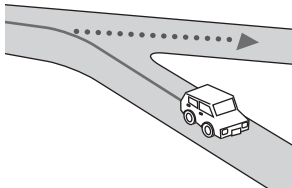
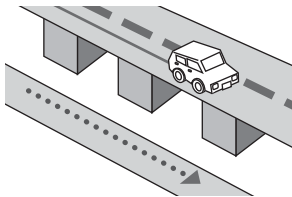
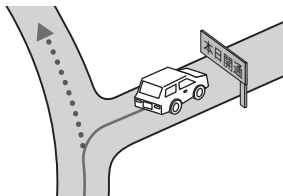
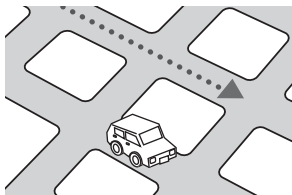
密集した樹木の間

- 他の電波の影響により、GPS 衛星の電波を正しく受信できなくなることがあります。
  ※高出力の UHF 無線機が使われている。
  ※56ch（UHF）を車内のテレビで受信している。
  ※GPS 受信アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。

GPS衛星自体による誤差

- GPS衛星はアメリカ合衆国によりGPS衛星の運用は管理されています。したがって、意図的にずれたデータを送信したり、衛星の運用が休止されることがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。

その他の誤差について

- 角度の小さなY字路を走った場合。

- 道路が近接している場合（有料道路と側道など）。

- 地図情報にはない新設道路を走った場合。

- 碁盤の目状の道路を走った場合。

- 工場などの施設内の道路を移動中、施設に隣接する道路に近づいた場合。

ルート案内時のご注意事項

- 高速道路など上下線が並行している場所において、まれに自車が走行しているのとは反対の車線に表示され、進行方向とは逆方向にルートを引いてしまうことがあります。
これは、GPS信号の受信状況により測位誤差が大きくなり、マップマッチングの結果、反対車線に自車がいるものと判断されるために発生するものです。
受信状況が悪いまま、あるいはマップマッチング動作の状態により、この問題が継続的に発生し続けて逆方向へのリルートが連続して発生することがあります。
こうした状況も受信状況の改善、あるいは高速道路を下りるなど、周囲環境の変化で自動的に修正されます。
この問題はシステム上の限界で、発生を完全に抑えることは不可能です。
万が一、このような状況に遭遇しましても、実際の交通規制、道路標識等に従い、慌てず運転をするようにしてください。

収録されている地図情報について

検索する場所によっては、その元となるデータのために、地図上に表示される位置と実際の位置がずれてしまうことがあります。

電話番号検索のデータについて

- 電話番号検索（ハローページの法人対象）が約780万件入っています。このデータは、日本ソフト販売（株） Bellmax®（2008年11月）のデータを元に作成されています。

地図記号について

- 地図上に表示される地図記号と実際の場所とは異なっている場合があります。特に、企業アイコンの表示にはご注意ください。

ルートに関する注意事項

ルート探索の仕様

- 走行される場合は、実際の交通標識やその他の指示に従って、運転を行ってください。曜日や時刻等により規制のある道路では、検索をした時刻を元にルート探索を行います。したがって、ルート検索した時刻には通れる道路でも、実際にその道路に到着した時間により規制により通れないことがあります。
- 探索されたルートが最適であるとは限りません。ルート探索は道路種別や交通規制などを考慮して目的地までのルートを表示しますが、交通事情やその他の諸事情により、他に最適ルートが存在する可能性があります。
- 本州から、北海道、四国、九州（沖縄を含む）のルートも設定できます。また、北海道、四国、九州（沖縄を含む）から各地へのルートも設定できます。フェリーが運行されている場合には、航路を使うルートが探索されることがあります。なお、フェリーについては、その総ての航路が収録されているわけではありません。したがって、表示されないフェリーの航路がある可能性があります。
- ルート探索は、目的地までの距離に関わらず、探索に時間がかかることがあります。

ルート探索のしかた

- 進行中または停車中の自車の方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
- 駅や河川等を目的地にした場合、目的地の反対側に案内されるルートになることがあります。そのようなときは、駅や河川の近くにある使用したい道路を目的地に設定してください。
- 目的地および出発地によってはルート探索できないことがあります。特に目的地については、近くの道路を目標地に設定してみてください。出発地により探索できないときは、少し移動してみてください。

ルートの表示について

- 道路形状によって、ルートの表示が道路からはみ出して見える場合があります。
- ルートの表示が、出発地・目的地・経由地の前後で途切れる場合があります。

音声案内について

- 有料道路のインターチェンジ出口付近を目的地として設定すると、「高速道路出口」と「料金所」は音声案内されないことがあります。

オートリルートについて

- オートリルートにて再検索する場合は、ルートからはずれた地点を出発地として、新しいルートを探索します。

ナビゲーションの地図データをご利用頂くにあたって

ナビゲーションの地図データ(以下本地図データ)を作成するにあたり、常時官公庁や事業主体への取材活動や実走実踏調査を通して、現在の状況を可能な限り再現する事はもちろん、将来の状況も含めて最新の地図情報をお客様にお届けするように努めております。しかしながら、取材時期、収集時期により新しい情報が収録できていない場合がございます事をご了承ください。

承認

- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の1万分の1地形図を使用しました。
  (承認番号 平21業使 第34 — M009817号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2.5万分の1地形図を使用しました。
  (承認番号 平21業使 第35 —M 011390号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を使用しました。
  (承認番号 平21業使 第36 —M 009825号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図を使用しました。
  (承認番号 平21業使 第37 —M 009833号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の100万分の1日本、50万分の1地方図を使用しました。
  (承認番号 平21業使 第38 —M 029664号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図500万(総合)を使用しました。
  (承認番号 平20業使 第483号)
- この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第44条に基づく成果使用承認08-151P)

※本地図データは、上記財団法人日本デジタル道路地図協会発行「全国デジタル道路地図データベース」の情報に基づいて、(株)昭文社が作成したものです。

データについて

本地図データ構築に当たって使用した情報は、おおむね下記の時期に収集・調査したものに基づいています。

- 高速道路や主要道路　2008年11月
- 高速道路/有料道路料金　2008年10月
- 重要施設　2008年12月
- 住所検索　2008年11月
- 電話番号検索　Bellemax®　2008年11月版

- 本地図データに収録している交通規制データは、普通車を対象としたものです。二輪車や大型車に対する規制とは異なる場合があります。
- 本地図データで使用している電話番号データは、日本ソフト販売(株)のBellemax®(2008年11月版)のデータを使用しております。Bellemax®は日本ソフト販売(株)の商標です。

採用されているぬけみちデータについて

下記の31都道府県につきましてぬけみちのデータを採用しております。

番　号	採用都道府県名
1	北　海　道
2	宮　城　県
3	福　島　県
4	茨　城　県
5	栃　木　県
6	群　馬　県
7	埼　玉　県
8	千　葉　県
9	東　京　都
10	神　奈　川　県
11	新　潟　県
12	富　山　県
13	石　川　県
14	福　井　県
15	山　梨　県
16	長　野　県
17	岐　阜　県
18	静　岡　県
19	愛　知　県
20	三　重　県
21	滋　賀　県
22	京　都　府
23	大　阪　府
24	兵　庫　県
25	奈　良　県
26	和　歌　山　県
27	鳥　取　県
28	岡　山　県
29	広　島　県
30	山　口　県
31	福　岡　県

おことわり

- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
- 内容には万全を期しておりますが、道路標識などの交通規制情報も予告なく変更される事がありますので、すべて現地の通行規制や標識に従って運転願います。
- 情報掲載内容については、(株)昭文社独自の取捨選択を行っております。
- 細心の注意を払い地図編集を行っておりますが全国の地図情報は膨大でかつ変化が激しいものですので、現地の状況との相違については、何卒ご了承頂きますようよろしくお願い申し上げます。
- 高速道路、有料道路の料金につきましては、2008年10月1日までの調査による2009年4月1日時点の二輪・軽自動車・中型自動車・普通自動車・大型車・特大車の料金をもって、料金表示を行っておりますが、実際にかかる費用と異なる場合がございます事を予めご了承ください。
- この地図に使用している交通規制データを無断で複写・複製・加工・改変する事はできません。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用する事を固く禁じます。
- 改良のため、予告なく編集方針(レイアウト、情報内容、地図仕様等)を変更する事があります。
- 本地図データ利用により事故、損害、トラブル等が生じても、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

キャンバスマップル株式会社
2010年2月

ワンセグ TV メニューについて

重要

- **自動車を運転中に本機でワンセグ TV を操作すること、または画面を注視することは非常に危険です。操作、視聴をする場合には自動車を安全なところに停車させてから行ってください。**

キーロック状態表示
：キーロック状態です。
：キーロック状態が解除されています。

Micro SD カード
microSD カードの有無を表示します。
：microSD カードが挿入されています。
：microSD カードが挿入されていません。

バッテリー状態表示
バッテリーの残量を表示します。
：
バッテリーの残量が不足しています。すぐに充電を行ってください。
：バッテリーの残量表示です。
：充電中です。

信号強度
受信しているワンセグ TV 用電波の強さを表します。

×ボタン
ワンセグ TV を終了します。

チャンネルリスト
設定されている放送局をリストで表示します。

チャンネルリストバー
このバーの▲または▼をタッチして、リストに表示されていないチャンネルを表示させます。

CH ▼ボタン
このボタンをタッチすると、1 つ先のチャンネルに移ります。続けてタッチすると、タッチするたびに、1 つ先のチャンネルに移っていきます。

CH ▲ボタン
このボタンをタッチすると、1 つ前のチャンネルに戻ります。続けてタッチすると、タッチするたびに、1 つ前のチャンネルに戻っていきます。

番組表ボタン
このボタンをタッチすると、視聴中のワンセグ TV の番組情報と番組表を表示します。

音量▼ボタン
ここをタッチすると、音量を下げることができます。

音量表示
音量を表示します。

音量▲ボタン
ここをタッチすると、音量を上げることができます。

消音ボタン
ここをタッチすると、音声を消すことができます。

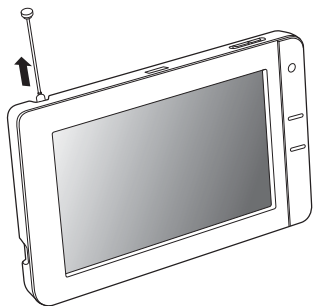
字幕表示
ここをタッチすると、字幕のオン / オフを切り替えます。

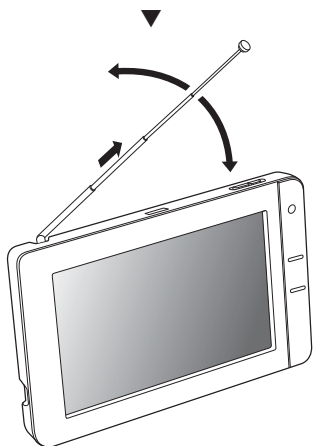
スキャンボタン
このボタンをタッチすると、今いる地域で受信可能な局を検索します。

設定ボタン
このボタンをタッチすると、音声切り換え設定、ユーザーモード、チャンネルを設定する地域が表示されます。

ワンセグ TV を視聴する前の準備

ワンセグ TV を視聴する前に、お使いになる地域に合わせて、チャンネルを設定する必要があります。

1 ワンセグ TV 用アンテナを伸ばす

アンテナを引き出す時は、無理な力を加えないでください。アンテナが折れたり、曲がったりします。

▼

ワンセグ TV 用アンテナは最後まで確実に引き出してください。

2 メインメニューの [**ワンセグ**( )] をタッチする

3 警告画面の [**確認**] をタッチする

[**確認**] または [**キャンセル**] がタッチされるまで、この表示は消えません。
[**キャンセル**] をタッチするとメインメニューに戻ります。

4 初めて使用する場合は、ワンセグ TV メニューの [**設定**] をタッチする

▼

ワンセグ TV 設定メニューの表示画面に変わります。

5 「チャンネル地域設定」の [地域選択] をタッチする

6 本機を使用する「地域」､「エリア」を順にタッチして、地域を選択する

7 ワンセグ TV 設定メニューに戻るには、右上の［×］をタッチする

注意

- 放送局は､「地デジ化」に対応するため、各地域の放送局やチャンネルが変更されることがあり、地域設定で受信できない場合があります。希望のチャンネルが受信できない場合は「スキャン」を実行してください。

どの地域に設定すればよいかわからない場合には以下を実行してください。

1 ワンセグ TV メニューの［**スキャン**］をタッチする

全チャンネルの検索を行います。
受信できるチャンネルが自動的にチャンネルリストに追加されていきます。
検索後、登録された放送局のうち、1 番に表示された放送局を表示します。

注意

- **車両を運転中や歩行中にワンセグ TV の準備はしないでください。交通事故の原因となることがあります。**

メモ

- 放送局の設定が済んでいるときは、手順 *4* から *7* の操作は必要ありません。

ワンセグ TV を視聴する

注意

- **車両を運転中や歩行中にワンセグ TV は見ないでください。交通事故の原因となることがあります。**
- **車両を運転中や歩行中にワンセグ TV の操作はしないでください。交通事故の原因となることがあります。**
- **ワンセグ設定のユーザーモード（→ P102）が運転席に設定されていると、走行中は下記の表示が出てワンセグ TV は音声のみとなります。**

- **助手席の方がお使いの時は、「ワンセグ TV 設定」の「ユーザーモード」を助手席に設定してください。走行中でもワンセグ TV を視聴できるようになります。**

1 ワンセグ TV 用アンテナを伸ばす

2 メインメニューの［**ワンセグ**（ ）］をタッチする

3 ワンセグ TV メニューのチャンネルをタッチする

表示されていないチャンネルを表示するには、チャンネルリストバーの▲または▼をタッチしてください。

縮小されている画面のどこかをタッチすると、ワンセグ TV が全画面表示されます。また、全画面表示中に画面をタッチするとワンセグ TV メニューに戻ります。

4 チャンネルを換えるには、タッチスクリーンのどこかにタッチし、ワンセグ TV メニューを表示する

5 ワンセグ TV メニューのチャンネルをタッチする

6 ワンセグ TV メニューを終了するにはワンセグ TV メニューの［×］をタッチする

メインメニューが表示されます。

音量を調整する

1 ［音量▼ / ▲］または本機右の音量ボタンをタッチする

●**［音量▼ / ▲］の場合**

音量数値が変更します。

▼

●**本機右側ボタンにて音量変更の場合**

画面中央に音量レベルが表示されます。

●［消音］をタッチすると音声を消すことができます。消音時には［消音］マークの枠が青く点灯します。

再度［消音］をタッチすると音は出るようになります。

視聴中の局の情報を見る

視聴中の局に関する番組表などの EPG（Electronic Program Guide：電子番組表）情報を見ることができます。

1 タッチスクリーンのどこかをタッチし、ワンセグ TV メニューを表示する

視聴している画面が縮小され、ワンセグ TV メニューが表示されます。

2 ［番組表］をタッチする

視聴中のチャンネルの番組表と選んだ番組の情報が表示されます。

3 ワンセグ TV メニューに戻るには、［×］をタッチする

メモ

- 局により EPG に表示される内容が違う場合があります。また、実際の放送と EPG に表示される番組が違うこともあります。

ワンセグ TV の設定を変更する

音声多重放送の出力方法、ユーザーモード、視聴地域の設定の変更を行います。

1 ワンセグ TV を全画面表示している時は、タッチスクリーンのどこかをタッチし、ワンセグ TV メニューを表示する

視聴している画面が縮小され、ワンセグ TV メニューが表示されます。

2 ワンセグ TV メニューの［**設定**］をタッチする

▼

ワンセグ TV 設定メニューの表示画面に変わります。

3 設定する内容に合わせ、各項目をタッチする

［音声］：主音声（主音声のみ）、副音声（副音声のみ）、主＋副音声（主音声と副音声同時）
［ユーザーモード］：運転席（走行中は音声のみ）、助手席（走行中も画面表示）
（→右記「注意」参照）
［地域］［エリア］：地域の設定。
地域を設定すると、設定した地域のチャンネルがリスト表示されます。

4 ［**決定**］をタッチする

メモ

- 音声で［**主＋副音声**］を選ぶと内蔵スピーカーからは主音声と副音声が同時に出ます。イヤフォンからは右から主音声、左から副音声が出ます。

ユーザーモードの設定

GPS 信号を受けているときに、その信号を解析して、走行中と判断するとワンセグ TV の画像は表示せずに音声のみとなります。

1 ワンセグ TV メニューの［**設定**］をタッチする

▼

ユーザーモードが表示されます。

2 ［**運転席**］をタッチする

運転中と判断するとワンセグの画像は表示せずに音声のみとなります。

［**助手席**］をタッチする

ワンセグの画像を見ることができます。

3 ワンセグ TV メニューに戻るには、右上の［×］をタッチする

注意

- 運転席モードに設定した場合、本機が走行中と判断すると、ワンセグ TV の画像は表示せずに音声のみとなります。
  視聴したい場合は、安全な場所に車を停車させてください。
- 助手席モードに設定した場合は、走行中に助手席の方や後部座席の方がワンセグ TV の視聴をする事ができるモードになります。

データの再生と本機の設定

動画再生
動画データを再生するには、ここをタッチします。

写真再生
写真データを再生するには、ここをタッチします。

音楽再生
音楽データを再生するには、ここをタッチします。

ナビゲーションから他のデータ再生へ切り換える

1 ナビゲーションメニューに戻り、[**設定**] をタッチする

2 [**終了**] をタッチする

3 確認ダイアログが開きますので、[**はい**] をタッチする

▼

ナビゲーションが終了して、メインメニューに戻ります。

4 メインメニューから [**ワンセグ TV**] 、[**マルチメディア**] または [**設定**] をタッチする

microSD カードの取り扱い

注意

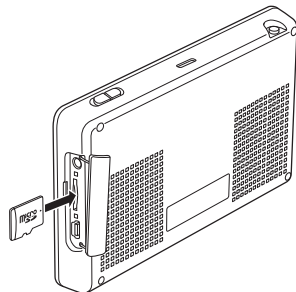
- microSD カードを挿入してから電源を入れてください。また、microSD カードは音楽・動画・写真などのデータをダウンロードする時を除いて、本機から取り外さないでください。microSD カードまたはデータの破損や不具合の原因となることがあります。
- ごくまれに、正常にお使いになっていても microSD カード内のデータの一部または全てが読み取れなくなってしまうことがあります。この様な場合に備えて、microSD カード内のデータはバックアップを取っておくようにお願いします。

メモ

- 新しい microSD カードをお買い求めになるときは、下記メーカーのものをお勧めいたします。
  推奨メーカー：Panasonic、東芝、SanDisk、HAGIWARA、TRANSCEND

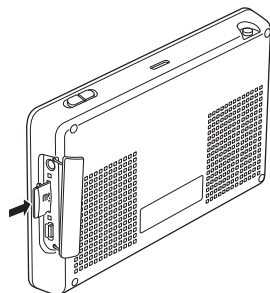
microSD カードの取り付け

1 本機の電源が切れていること、また充電中でないことを確かめる

2 microSD カードは向きに注意しながら、しっかりと本機に挿入する

注意

- microSD カードは、本機の SD カードスロットに対してまっすぐに挿入してください。

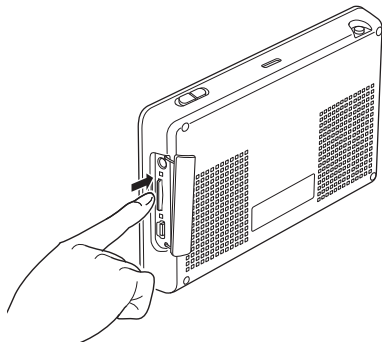
3 microSD カードが固定されるまで microSD カードを押す

無理に microSD カードを押し込むと、本機または microSD カードを破損する恐れがあります。

注意

- 音楽、動画、写真は、microSD カード内の Music、Movie、Photo の各フォルダーを作って、その中にデータを入れてください。
- 変形したり、傷ついた microSD カードを本機に入れないでください。

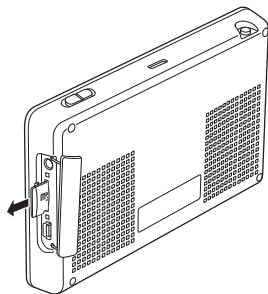
microSD カードの取り外し

1 本機の電源が切れていること、また充電中でないことを確かめる

2 microSD カードをカチッと音がするまで奥にゆっくりと押し込む

カチッと音がしたら、micorSD カードに指を添えながら手前に戻してください。

注意

- microSD カードを押込んだあと、指をすぐに離さないでください。
  強く押込んだ状態で指を離すと、micorSD カードが勢い良く飛び出す恐れがあり、破損や紛失の原因となることがあります。

3 microSD カードをゆっくり引き抜く

microSD カードが出てきますので、microSD カードをまっすぐにゆっくりと引き抜いてください。

microSD カードによっては、ロック解除ができず出てこない場合があります。その場合は指で軽く引き出して、取り外してください。

注意

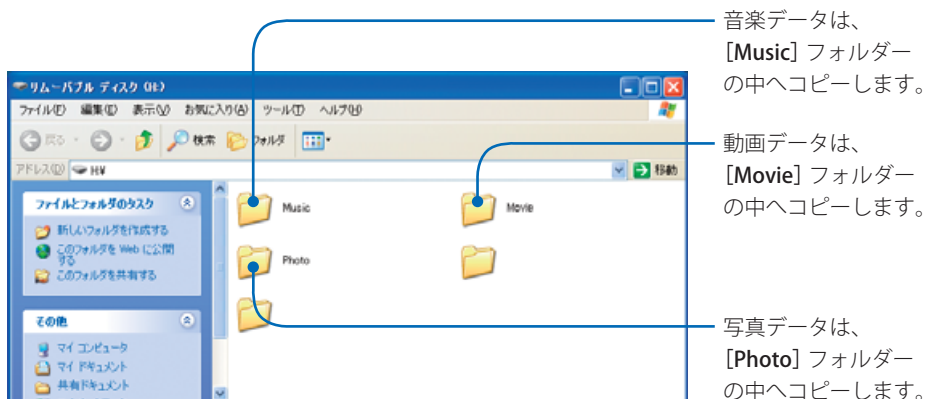
- 万一、microSD カードが取り出せなくなったときは、無理に取り出そうとせずに、サポートセンターにお問い合わせください。

再生するデータのダウンロードについて

用意した動画、音楽、写真データを本機内の microSD カードへコピーして、本機にて再生させることができます。
microSD カードへのコピーはパソコンにて以下の方法で行ってください。

1 各データを入れるために次のフォルダーを作る

Movie：動画データ用、Music：音楽データ用、Photo：写真データ用
各データは名前を設定したフォルダに入れなくても再生はできます。しかし、データを名前を設定したフォルダにいれておくと、簡単にデータを探し出せます。

2 作成したデータを本機の microSD カードの各フォルダーの中へコピーする

再生できる動画データ	
ファイルフォーマット	AVI
動画コーデック	MPEG － 2 MP（640 × 480、10Mbps、30frame） MPEG － 4 SP（640 × 480、4Mbps、30frame）
	XviD 4/5（640 × 480、4Mbps、30frame）
音声コーデック	MP3
再生できる音楽データ	
コーデック	MP3
表示できる写真データ	
コーデック	JPEG
最大ピクセル数	1600 × 1200

（但し、データにより再生できない場合があります）

音楽を聴く

キーロック状態表示
：キーロック状態です。
：キーロック状態が解除されています。

Micro SD カード
microSD カードの有無を表示します。
：microSD カードが挿入されています。
：microSD カードが挿入されていません。

▶| ボタン
このボタンをタッチすると、1 つ先の曲に移ります。続けて押すと、タッチするたびに、1 つ先の曲に移っていきます。

バッテリー状態表示
バッテリーの残量を表示します。
：バッテリーの残量が不足しています。すぐに充電を行ってください。
：バッテリーの残量表示です。
：充電中です。

×ボタン
マルチメディアのメニューに戻ります。

アルバム表示
アルバムジャケットのデータがある場合に表示されます。

音楽ファイル名表示
現在再生中の音楽ファイル名を表示します。

再生時間表示
現在再生している音楽の再生時間を表示します。

プログレスバー
曲の進行状況を表示します。

リストバー
このバーの▲または▼をタッチして、リストに表示されていないチャンネルを表示させます。

▶ または II ボタン

▶ ボタン
このボタンは、停止中または一時停止中に表示されます。このボタンをタッチすると、再生を行います。

II ボタン
このボタンは、再生中に表示されます。このボタンをタッチすると音楽の再生を一時停止します。

音量表示
音量を表示します。

消音ボタン
ここをタッチすると、音声を消すことができます。

音量▼ボタン
ここをタッチすると、音量を下げることができます。

音量▲ボタン
ここをタッチすると、音量を上げることができます。

再生総時間表示
再生中の曲の演奏時間を表示します。

|◀ ボタン
このボタンをタッチすると、1 つ前の曲に戻ります。続けてタッチすると、押すたびに、1 つ前の曲に戻っていきます。

再生モード切り替えボタン（P109）
このボタンをタッチすると、全曲を順次再生、選択したファイルのみの 1 曲再生、ランダム再生と切り換えることができます。

音楽リスト編集ボタン
このボタンをタッチすると、音楽リスト編集画面に表示を切り替えます。

■ボタン
このボタンをタッチすると、再生を停止します。

曲の再生・停止

注意

- 初めての方は(→ P110)「再生リストの作成」から始めてください。

1 電源を入れる前に「microSD カード」を本機に挿入する。

(→ P104)「microSD カードの取り扱い」

注意

- 電源を入れてから「microSD カード」を本機に挿入した場合、データの読み取りする事ができない場合があります。必ず、microSD カードの抜き差しする場合は、電源を切ってからおこなってください。

メモ

- 再生リストに音楽データのファイル名が表示されていない場合は、再生リストに追加する必要があります。(→ P110)「再生リストの作成」を参照してください

2 マルチメディアメニューを表示させて［音楽( )］をタッチする

▼

音楽再生画面が表示されます。

3 ［再生リスト］内の聴きたい曲を タッチする

表示されていない曲を表示するには、リストバーの▲または▼をタッチしてください。

▼

曲の再生が始まります。

4 再生を一時停止するには、II をタッチする

アイコンがIIから▶に変わります。▶をタッチすると、一時停止したところより再生が始まります。

5 曲を停止するには、■ をタッチする

再生を停止します。

6 他の曲を再生するには、手順 3 から始める

選んだデータを再生するには、再度▶をタッチします。

メモ

- 再生可能なファイルに関しては、P106 を参照してください。
  ※但し、ファイルにより再生できない場合があります。
- 選んだ曲の再生が終わると、リストの次の曲が再生されます。
- 「ランダム」を選ぶと、順不同で音楽ファイル再生します。繰り返し同じファイルを再生する場合は、再生モードボタンを押し、「 」の表示にしてください。

音量を調整する

1 ［音量▼ / ▲］または本機右の音量ボタンをタッチして、適当な音量に調整する

［消音］をタッチすると音声を消すことができます。
再度［消音］をタッチすると音は出るようになります。

曲の早送り・早戻し・選曲

1 曲の早送りをするには、プログレスバーをタッチする

曲の早戻しをするには、プログレスバーを進ませたい箇所でタッチします。

2 1 つ先の曲に移るには、▶| をタッチする

続けて押すと、押すたびに、1 つ先の曲に移っていきます。

3 1 つ前の曲に戻るには、|◀ をタッチする

続けて押すと、押すたびに、1 つ前の曲に戻っていきます。

色々な再生方法

再生中の曲を繰り返す 1 曲リピート、全曲を繰り返し再生する全曲リピート、曲を順不同に再生するランダム再生を切り替えられます。

1 再生モードをタッチして、再生方法を変更する

一曲リピート：
再生中の曲を繰り返し再生します。

全曲リピート：
全曲を繰り返し再生します。

ランダム再生：
曲をランダムに再生します。

全曲再生：
全曲を一周して停止します。

再生リストの作成

1 マルチメディアメニューを表示させて [(音楽)] をタッチする

音楽再生画面が表示されます。

2 [リスト編集] をタッチする

▼

再生リスト編集画面が表示されます。

3 再生したい曲または曲が入っているフォルダをタッチする

フォルダの中に更にフォルダが入っている場合もあります。その場合は再度再生したい曲が入っているフォルダをタッチしてから、再生リスト下の［開く］をタッチしてください。

▼

視聴したい曲に「チェックマーク」を入れてください。(フォルダにはチェックマークが付きません。)

▼

選択したファイルにチェックマーク(✔)が付きます。

また、他のフォルダや前リストから曲を選択したい場合は、[閉じる] をタッチして選択出来る画面まで戻ってください。

4 [追加] をタッチする

再生リスト側に選択した曲が表示されます。

フォルダにカーソルを合わせて追加した場合は、フォルダ内の音楽データが追加されます。

また、再生リスト(左画面)にて [▲] または [▼] をタッチすると再生曲の順番を入れ換える事ができます。

5 [決定] をタッチする

音楽再生画面が表示されます。

(→ P108)「曲の再生・停止」の手順 **2** に続きます。

メモ

- 手順 **4** において本機で再生出来ないデータを選んだ場合、リストに表示されますが、再生する事ができません。
- 再生可能なファイルに関しては、P106 を参照してください。
  ※但し、ファイルにより再生できない場合があります。
- 再生リストから曲を削除したい場合は、再生リストに表示されいる曲名をタッチしてから再生リスト下の［削除］をタッチしてください。
- 再生リストから全曲を削除したい場合は、再生リスト下の［全体削除］をタッチしてください。

注意

- 本機指定以外の「ファイルフォーマット」や「コーデック」のファイルでも音楽リストが画面上に表示される場合もありますが、再生出来ない事があります。

動画を再生する

キーロック状態表示
：キーロック状態です。
：キーロック状態が解除されています。

Micro SD カード
microSD カードの有無を表示します。
：microSD カードが挿入されています。
：microSD カードが挿入されていません。

▶| ボタン
このボタンを押すと、1 つ先の動画に移ります。続けて押すと、押すたびに､1 つ先の動画に戻っていきます。

|◀ ボタン
このボタンを押すと、1 つ前の動画に戻ります。続けて押すと、押すたびに、1 つ前の動画に戻っていきます。

▶ ボタン
このボタンは、停止中または一時停止中に表示されます。このボタンを押すと、再生を行います。

リスト編集ボタン
このボタンをタッチすると、動画リスト編集画面に表示を切り替えます。

■ボタン
このボタンを押すと、現在再生中のファイルを停止します。

音量▼ボタン
ここをタッチすると、音量を下げることができます。

バッテリー状態表示
バッテリーの残量を表示します。
：
バッテリーの残量が不足しています。すぐに充電を行ってください。
：バッテリーの残量表示です。
：充電中です。

×ボタン
マルチメディアのメニューに戻ります。

再生時間表示
現在再生している動画の再生時間を表示します。

プログレスバー
動画の進行状況を表示します。

再生総時間表示
現在再生中の動画の総演奏時間を表示します。

消音ボタン
ここをタッチすると、音声を消すことができます。

再生モード
このボタンをタッチすると、動画の再生モードを切り替えます。

音量▲ボタン
ここをタッチすると、音量を上げることができます。

音量表示
音量を表示します。

動画の再生・停止

重要

- 自動車を運転中に本機で動画を操作すること、または画面を注視することは非常に危険です。操作、視聴をする場合には自動車を安全なところに停車させてから行ってください。

注意

- 初めての方は(→ P114)「動画リストの作成」から始めてください。

1 電源を入れる前に「microSD カード」を本機に挿入する。

(→ P104)「microSD カードの取り扱い」

メモ

- 動画リストに動画のファイル名が表示されていない場合は、動画リストに追加する必要があります。(→ P114)「動画リストの作成」を参照してください

2 マルチメディアメニューを表示させて動画( )] をタッチする

▼

動画リストの一番目から再生されます。

3 動画を再生するには ▶ をタッチする

アイコンが ▶ から ‖ に変わります。

4 動画を一時停止するには、‖ をタッチする

アイコンが ‖ から ▶ に変わります。
▶ をタッチすると、一時停止したところより再生が始まります。

5 選んだ動画を繰り返し再生するには、[再生モード] にタッチし「」にする

6 動画を全画面で表示するには、表示されている動画のどこかをタッチする

7 動画再生画面に戻るには、タッチスクリーンのどこかをタッチします。

▼

動画再生画面が表示されます。

メモ

- データ容量の大きなファイルは再生を開始するまで時間がかかります。
- 再生可能なファイルに関しては、P106 を参照してください。

音量を調整する

1 ［音量▼ / ▲］または本機右の音量ボタンをタッチして、適当な音量に調整する

［消音］をタッチすると音声を消すことができます。
再度［消音］をタッチすると音は出るようになります。

動画の早送り・早戻し・選択

1 動画の早送りをするには、プログレスバーをタッチする

動画の早戻しをするには、プログレスバーを進ませたい箇所でタッチします。

2 1 つ先の動画に移るには、▶| をタッチする

続けて押すと、押すたびに、1 つ先の動画に移っていきます。

3 1 つ前の動画に移るには、|◀ をタッチする

続けて押すと、押すたびに、1 つ前の動画に移っていきます。

色々な再生方法

動画再生を繰り返さず、全ファイルを一周して停止する全ファイル再生、全ファイルを繰り返し再生する全ファイルリピートを切り替えられます。

1 再生モードをタッチして、再生方法を変更する

全ファイル再生：
全ファイルを一周して停止します。

全ファイルリピート：
動画の全ファイルを繰り返し再生します。

動画リストの作成

1 マルチメディアメニューを表示させて動画( )］をタッチする

▼

動画再生画面が表示されます。

2 ［リスト編集］をタッチする

▼

再生リスト編集画面が表示されます。

3 再生したい動画または動画が入っているフォルダをタッチする

フォルダの中に更にフォルダが入っている場合もあります。その場合は再度再生したい動画が入っているフォルダをタッチしてから、再生リスト下の［開く］をタッチしてください。

▼

視聴したい動画に「チェックマーク」を入れてください。（フォルダにはチェックマークが付きません。）

▼

選択したファイルにチェックマーク（✔）が付きます。

また、他のフォルダや前リストから動画を選択したい場合は、［閉じる］をタッチして選択出来る画面まで戻ってください。

4 ［追加］をタッチする

再生リスト側に選択した動画名が表示されます。

フォルダにカーソルを合わせて追加した場合は、フォルダ内の動画データが追加されます。

また、再生リスト（左画面）にて［▲］または［▼］をタッチすると動画再生の順番を入れ換える事ができます。

5 ［決定］をタッチする

動画リスト画面が表示されます。

（→ P112）「動画の再生・停止」の手順 **2** に続きます。

メモ

- 手順 **4** において本機で再生出来ないデータを選んだ場合、リストに表示されますが、再生して視聴することができません。
- 再生可能なファイルに関しては、P106 を参照してください。
  ※但し、ファイルにより再生できない場合があります。
- 再生リストから動画を削除したい場合は、ファイル名のチェック BOX にチェックマークを付けてから再生リスト下の［削除］をタッチしてください。
- 再生リストから全動画を削除したい場合は、再生リスト下の［全体削除］をタッチしてください。

注意

- 再生できない「ファイルフォーマット」や「コーデック」でも画面上に動画リストが表示される場合もありますが、再生して視聴することは出来ません。

写真を再生

キーロック状態表示
：キーロック状態です。
：キーロック状態が解除されています。

Micro SD カード
microSD カードの有無を表示します。
：microSD カードが挿入されています。
：microSD カードが挿入されていません。

バッテリー状態表示
バッテリーの残量を表示します。
：
バッテリーの残量が不足しています。すぐに充電を行ってください。
：バッテリーの残量表示です。
：充電中です。

×ボタン
マルチメディアのメニューに戻ります。

◀ ボタン
このボタンをタッチすると、1 つ前の写真に戻ります。続けてタッチすると、押すたびに、1 つ前の写真に戻っていきます。

▶ ボタン
このボタンをタッチすると、1 つ先の写真に移ります。続けてタッチすると、押すたびに、1 つ先の写真に移っていきます。

写真リストボタン
このボタンをタッチすると、写真リスト編集画面に表示を切り替えます。

スライドショーボタン
このボタンを押すと、スライドショーが始まります。

インデックスボタン
このボタンをタッチすると、写真の表示をインデックス表示にすることができます。

回転ボタン
このボタンをタッチすると、写真が右回りに回転します。

写真の選択・表示

注意

- 初めての方は(→ P117)「写真リストの作成」から始めてください。

1 電源を入れる前に「microSD カード」を本機に挿入する。

(→ P104)「microSD カードの取り扱い」

注意

- 電源を入れてから「microSD カード」を本機に挿入した場合、データの読み取りする事ができません。必ず、microSD カードの抜き差しする場合は、電源を切ってからおこなってください。

メモ

- 写真が表示されていない場合は、写真リストに写真ファイルを追加する必要があります。(→ P117)「写真リストの作成」を参照してください

2 マルチメディアメニューを表示させて［写真( )］をタッチする

▼

写真リストの一番上の写真が表示されます。

3 1 つ先の写真に移るには、写真の右にある ▶ をタッチする

続けてタッチすると、タッチするたびに、1 つ先の写真に移っていきます。

4 1 つ前の写真に移るには、写真の左にある ◀ をタッチする

続けてタッチすると、タッチするたびに、1 つ前の写真に戻っていきます。

5 写真に回転するには、［回転］をタッチする

続けてタッチすると、タッチするたびに、写真は 90° づつ回転していきます。

6 写真を全画面表示にするには、表示されている写真をタッチする

写真のどこかをタッチすると、写真再生画面に戻ります。

7 リスト編集画面を表示するには、［リスト編集］をタッチする

▼

リスト編集画面が表示されます。

8 一度に幾つかの写真を同時に表示するには、［インデックス］をタッチする

▼

インデックス表示になり、幾つかの写真が同時に表示されます。
表示されていない写真を表示するには、リストバーの▲または▼をタッチしてください。

［×］をタッチすると、写真再生画面に戻ります。

メモ

- JPEG ファイルの再生が可能です。
  ※但し、ファイルにより再生できない場合があります。
- データ容量の大きい写真は、表示されるまでに時間がかかる場合があります。

注意

- 上記以外の「コーデック」でも画面上に写真リストが表示される場合もありますが、再生してご覧いただくことは出来ません。

写真リストの作成

1 マルチメディアメニューを表示させて［写真（）］をタッチする

▼

写真リストの一番上の写真が表示されます。

2 ［リスト編集］をタッチする

再生リスト編集画面が表示されます。

3 再生したい写真または写真が入っているフォルダをタッチする

フォルダの中に更にフォルダが入っている場合もあります。その場合は再度再生したい写真が入っているフォルダをタッチしてから、再生リスト下の［開く］をタッチしてください。

▼

閲覧したい写真に「チェックマーク」を入れてください。（フォルダにはチェックマークが付きません。）

▼

選択したファイルにチェックマーク（✔）が付きます。

他のフォルダに移動したいときは、再生リスト下の［閉じる］を何度かタッチして、開いたフォルダを閉じていってください。

4 ［**追加**］をタッチする

再生リスト側に選択したファイル名が表示されます。
フォルダにカーソルを合わせて［追加］をタッチした場合は、フォルダ内の写真データが追加されます。
再生リスト（P117 の画面）にて［▲］または［▼］をタッチすると写真の順番を入れ換える事ができます。

5 ［**決定**］をタッチする

写真再生画面が表示されます。
（→ P116）「写真の選択・表示」の手順 **2** に続きます。

メモ

- 手順 **4** において本機で再生出来ないデータを選んだ場合、リストに表示されますが、再生してご覧いただくことができません。
- JPEG ファイルの再生が可能です。
  ※但し、ファイルにより再生できない場合があります。
- 再生リストから写真を削除したい場合は、再生リストに表示されいる写真名をタッチしてから再生リスト下の［削除］をタッチしてください。
- 再生リストから全写真を削除したい場合は、再生リスト下の［全体削除］をタッチしてください。

スライドショーの表示

1 スライドショーを始めるには、写真再生画面にて［**スライドショー**］をタッチする

スライドショーの設定画面が表示されます。

2 ［**遅い**］、［**普通**］、［**早い**］のいずれかをタッチしてスライドショーのスピードを設定する

3 ［**スタート**］をタッチする

スライドショーが始まります。
［**キャンセル**］をタッチすると、写真再生画面に戻ります。

メモ

- スライドショーは下記のようなスピードで写真が順次切り替ります。
  - 早い…約 5 秒
  - 普通…約 30 秒
  - 遅い…約 5 分

注意

- 写真のサイズによりスライドショーのスピードが異なる場合があります。

設定を変更する

タッチスクリーンの明るさや音量調整の設定をしたり、パネルの補正やアップデートやシステムの初期化なども行います。

画面 / 音量設定
明るさの調整、音量の調整をするときに、ここをタッチします。設定する画面が表示されます。

システム設定
タッチパネル補正、ファームウエアのアップデート、システム初期化の設定するときに、ここをタッチします。設定する画面が表示されます。

×ボタン
設定を終了します。

システム情報
システム情報を表示するときに、ここをタッチします。

画面と音量の設定を変更する

明るさと音量の調整をすることができます。

1 メインメニューを表示させて、

[**設定**( )] をタッチし、

[画面 / 音量設定( )] をタッチする

画面 / 音量設定メニューが表示されます。

明るさの調整、音量調整を行う画面が表示されます。

2 ● **明るさの調整**

「明るさ」の ◀ または ▶ をタッチして明るさの調整を設定する

左の ◀ をタッチすると画面は暗くなり、右側の ▶ をタッチすると明るくなります。

● **音量設定**

「音量調整」の ◀ または ▶ をタッチして音量の調整を設定する

内蔵スピーカーまたはイヤホンの音量を 10 段階で設定します。

メモ

- 本機右側の音量ボタンで音量を変更すると、その音量が反映します。

注意

- 音量を上げてもナビゲーション時の操作音が聞こえない場合は、ナビゲーションの設定メニューにて操作音が「OFF」に設定されている可能性があります。「操作音を設定する」(→P89) を参照してください。

3 設定メニューに戻るには、右上の [×] をタッチする

システムの設定をする

実際にタッチした箇所と違う箇所が動作するようなときに、画面の調整をするために使います。

1 メインメニューを表示させて、

[**設定**( )] をタッチし、

[システム設定( )] をタッチする

システム設定メニューが表示されます。

2 パネル補正の [**タッチパネル補正**] をタッチする

▼

画面調整をすることを確認する画面が表示されます。

3 画面中央のターゲット (+) をタッチする

ターゲットをタッチすると、ターゲットは中央→左上→左下→右下→右上の順に 4 隅を移動しますので、順次タッチしていってください。

4 調整が完了すると、メッセージが出ますので、タッチスクリーンのどこかをタッチすると新しい設定が登録される

何もしないで 30 秒経過すると元の設定になります。

▼

設定画面に戻ります。
調整に失敗すると、再度ターゲットが中央に表示されますので、再度調整を行ってください。

メモ

- 調整が完了しても、実際にお使いになるときに、タッチする箇所と動作する箇所がずれる。または、何度やっても調整に失敗するような場合は弊社のサポートセンターにお問い合わせください(→ P128)。

本機をアップデートする

本機のアプリケーションや OS は、アップデートすることができます。

1 本機を AC アダプターまたはシガー電源に接続する

※ AC アダプターまたはシガー電源を接続しなければ、アップデートが出来ません。

2 アップデートに必要なファイルが入った microSD カードを本機に挿入する

3 メインメニューを表示させて、[**設定**( )] をタッチし、[システム設定( )] をタッチする

システム設定メニューが表示されます。

4 システム設定の [アップデート] をタッチする

▼

アップデートを確認する画面が表示されます。

5 アップデートする場合は、[**はい**] をタッチする

▼

アップデートが終わると、自動的に電源が切れます。

注意

- アップデート中に電源を絶対に切らないでください。また、microSD カードは抜き出さないでください。
- シガー電源アダプターをお使いのときは、車のエンジンをかけた状態で行ってください。
- アップデートの途中で電源が切れると、アップデートが正しく行われず、本機の故障になる原因となります。(→ P8 ～ P9)

本機を初期化する

1 メインメニューを表示させて、
[**設定**( )] をタッチし、
[システム設定( )] をタッチする

システム設定メニューが表示されます。

2 システム設定の [工場出荷状態に戻す] をタッチする

▼

初期化を確認する画面が表示されます。

3 初期化をする場合は、[**はい**] をタッチする

▼

初期化作業が完了しました。
電源が自動的に切れます。

▼

初期化が終わると、自動的に電源が切れます。

注意

- 本操作では、ナビゲーションが初期化されません。
ナビゲーションを初期化するには(→ P91)「設定を初期化する」を参照してください。

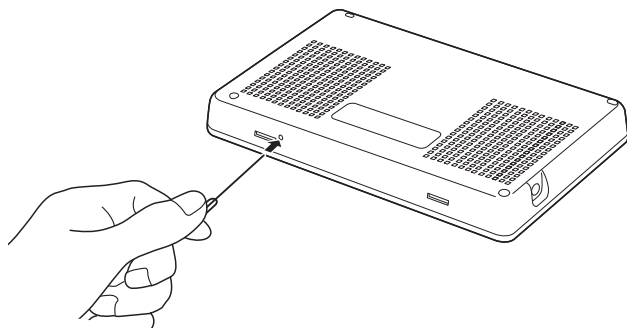
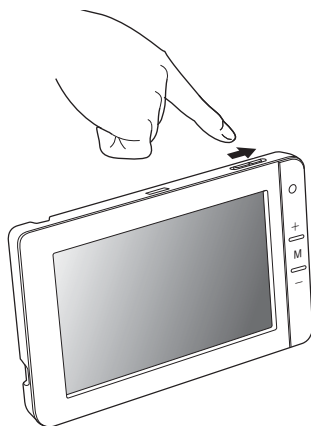
システム情報について

1 メインメニューを表示させて、
[**設定**( )] をタッチし、
[システム情報( )] をタッチする

システム情報が表示されます。

本機のリセット方法

1 本機下部のリセットスイッチを押す

電源が切れます。

2 電源スイッチを右にスライドし、電源を入れる

本機をリセットしても問題が解決されない場合は、サポートセンターへお問い合わせください。

故障かなと思ったら

製品が正常に作動しない場合には、まず以下の内容をご確認ください。

症　状	処　置
電源について	
電源が入りません。	バッテリー容量が不足している場合があります。充電してください。（P10 ～ P11）
	画面が表示されるまで、電源スイッチを右にスライドさせてください。（P21）
電源を入れてから、メインメニューが表示されるまでに時間がかかります。	電源を入れると、通常のパソコンのように OS が立ち上がります。オープニング画面が表示がされている間は OS が起動している途中です。
充電されません	AC アダプターまたは DC 電源アダプターが正しく接続されているか確認してください。（P8 ～ P9）
満充電はどうやって確認したらよいですか？	メインメニュー画面の電池マークが 3 本同時に点灯した時になります。（P10 ～ P11）
本体について	
本機が温かくなります。	本機は、多少温かくなりますが、不具合ではありません。
タッチスクリーンの反応が悪い	タッチスクリーンの保護フィルムをはがしてください。 また、市販の保護シートは貼らないでください。 保護シートが貼られていると、タッチスクリーンが正しく動作しないことがあります。
タッチした箇所と違う箇所が動作する	パネル補正をおこなってください。（P90）
画面にタッチしても操作ができない	キーロックモードにしていませんか？ キーロックモードを解除してください。（P21）
ナビゲーション機能について	
実際の進行方向と自車マークとの向きが合っていません。	地図表示がノースアップになっていると北が常に上になります。実際の進行方向と自車マーク方向を合わせるには、地図表示をヘッドアップにしてください。（P32）
ルート誘導が始まりません。	ルート誘導を始めるには、2 次元測位以上ができなくてはなりません。特に周りに高いビルや木などがあり、GPS 衛星から信号が妨害されていることがあります。

症　状	処　置
どうすればナビゲーションからメインメニューに戻れるか分かりません。	ナビゲーションメニューから「設定」を選び、設定メニューの「終了」を選びます。(P24)
ナビゲーションで現在地が正しく表示されません。	GPS 衛星からの信号(GPS 信号)が正しく受信できていない場合があります。GPS 信号を受信しやすい、見晴らしの良い場所に移動してください。また、GPS 信号を正しく受けるまでに、少し時間がかかる場合があります。
	自車位置マーク( )が地図画面から見えない場合は､「現在地」ボタンをタッチしてください。(P17、P37)
本機右側の「M」メインメニューボタンを押してもメインメニューが表示されません。	本機右側の「M」メインメニューボタンは、下記のモード時にメインメニューが表示されます。 「ワンセグ TV モード・マルチメディアモード(音楽、動画、写真)・設定モード」
音量について	
音が出ません。	音量が最小になっている場合があります。音量調整をしてください。 ナビゲーションの場合 → P21 ワンセグ TV の場合 → P101 動画の場合 → P113 音楽の場合 → P109
	イヤフォン接続端子にイヤフォンまたはヘッドホンが接続されていませんか。イヤフォンなどが接続されていると本機のスピーカーから音は出ません。(P14)
「音量レベル」が変更されている時があります。	本機右側の「＋ / －」音量ボタンに触れていませんでしたか？ ご注意ください。
操作音が聞こえません。	ナビゲーションの場合｡「操作音を設定する」(P89) ナビゲーション以外の場合｡「画面と音量の設定を変更する」(P120)
ワンセグ機能について	
ワンセグ TV が受信できません。	お住まいの地域とワンセグ TV のチャンネル設定が合っていますか。チャンネル設定が合っていないと受信ができません。お住まいの地域に合うようにワンセグ TV メニューの「設定」にて「地域設定」を行うか､[**スキャン**] をタッチして全チャンネルスキャンを行ってください。(P98 ～ P99)

症　状	処　置
ワンセグTVでチャンネルリストに表示されている局が受信できません。	お住まいの地域を設定で選ぶと、電波状態により受信できない局もリストに表示されます。その場合は、全チャンネルスキャンを行って受信できる局のチャンネルリストを作り直してください。(P98～P99)
	移動することにより電波状態が変わります。少し移動してください。
	移動することにより受信できる局が変わることがあります。再度、全チャンネルスキャンをしてみてください。(P98～P99)
映像がギザギザに表示されます。	デジタル放送特有の現象で、故障ではありません。
ワンセグTVを視聴中に「走行中は表示されません。」の表示が出て、ワンセグTVが見れません。	ユーザーモードの設定が［運転席］モードになっていませんか？(P102) 「運転席」モードを設定中に本機が走行してることを感知すると、ワンセグTVは音声のみの再生となります。 また、ユーザーモードの設定を［助手席］に設定すると、走行中でもワンセグTVの視聴は可能ですが、事故の原因となりますので運転をされている方は画面を見ないでください。
「メインメニュー画面」に戻ってしまいます。	本機右側の「M」メインメニューボタンに触れていませんでしたか？ご注意ください。
マルチメディア機能について	
動画、音楽または写真データ再生ができません。	再生できる条件に合っていないことがあります。条件に合ったデータを正しいフォルダーに入れてください。
「メインメニュー画面」に戻ってしまいます。	本機右側の「M」メインメニューボタンに触れていませんでしたか？ご注意ください。

サポートセンターへのお問い合わせ方法

ご使用の製品とご使用環境に関する「サポートに必要な情報」が必要となります。全ての情報をご用意いただいた上でお問い合わせいただきますと、より早い対応が可能となります。

サポートに必要な情報

- ご使用の製品名「DTN-X651」
- 本体裏側に記載されているシリアル番号（S/N）
- 再生したデータ形式（MP3、AVI、JPEG など）
- データを作成する際に使用したソフトウェアの名称
- 具体的なお問い合わせの内容
  行なった操作、手順、発生した不具合の状況について詳細にお知らせください。また、エラーメッセージなどが表示されている場合は、メモをとってお知らせください。

お問い合わせ先：トライウインサポートセンター

電話：

0570-030-100

電子メール：

support@trywin.co.jp

受付時間：

月曜日～金曜日（祝日および当社の休日を除く）

午前 10:00 ～午後 6:00

住所：

〒 331-0812
埼玉県さいたま市北区宮原町 1-677

Web ページアドレス：

http://www.trywin.co.jp/

無償修理規定

取扱説明書（本書）、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には無償修理をさせていただきます。原則的に持込修理となります。

無償修理をご依頼になる場合には、商品に本書を添えていただき、お買い上げの販売店または、トライウイン・サポートセンターまでお申し付けください。

保証期間内でも次の場合には原則として有償とさせていただきます。

（イ）使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
（ロ）お買い上げ後の取り扱いの不備、落下などによる故障、および損傷。
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変および公害、塩害、ガス害、異常電圧、指定以外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
（ニ）保証書のご添付がない場合。
（ホ）保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句などを書き替えられた場合。
（ヘ）船舶または業務用に使用された場合の故障および損傷。
（ト）持込修理の対象商品を直接窓口へ送付した場合の送料などは、お客様のご負担となります。

保証書は国内においてのみ有効です。
(The warranty is valid only in Japan.)
保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無償修理対応および、その後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、トライウイン・サポートセンターまでお問い合わせください。

使用許諾契約書

重要 — 以下の使用許諾契約書を注意してお読みください。

本使用許諾契約書(以下「本契約書」といいます。)は、下記に定める本ソフトウェア製品に関して、お客様(個人、法人を問いません。)とキャンバスマップル株式会社(以下「キャンバスマップル」といいます。)との間に締結される法的な契約書です。本契約書の条項に同意されない場合、キャンバスマップルは、お客様に、以下に定義される本ソフトウェア製品の使用について許諾することはできません。なお、お客様が本ソフトウェア製品を使用した場合には、本契約書の条項に同意されたものとみなし、以後、本契約書の条項が適用されるものといたします。

定義

本ソフトウェア製品とは、ポータブルナビゲーション DTN-X651 用ナビゲーションアプリケーションソフトウェアならびに、それに関連した媒体、アップデートおよび機能追加のためのソフトウェア、収録されている地図データおよびその他のデータ、印刷物(マニュアルなどの文書)を含みます。なお、本ソフトウェア製品に加えて提供されるソフトウェアに別途の使用許諾契約書が添付されている場合は、それらの使用許諾契約書が優先的に適用されます。

使用許諾

キャンバスマップルは、お客様(個人、法人を問いません。)に対し以下の権利を許諾します。

1. お客様が非営利目的に使用する場合に限り、本ソフトウェア製品を、それが収録されている特定の 1 台のポータブル・ナビゲーション・デバイス(以下「PND」といいます。)において使用することができます。

制限事項

1. 上記の「使用許諾」の各条項に違反して利用することはできません。
2. 本ソフトウェア製品に含まれるデータ、プログラム等、または関連情報について、複製、転記、抽出、公衆送信(送信可能化を含みます。)および改変・翻案等は一切できません。
3. 本ソフトウェア製品を同時に 2 台以上の機器で使用することはできません。
4. 本ソフトウェア製品および本ソフトウェア製品を利用することにより生じる結果を、下記に定める営業活動および営利を目的として利用することはできません。ただし、事前にキャンバスマップルの承諾を得たものに関してはこの限りではありません。
   ①利益の有無にかかわらず、販売やサービスなど、収益を目的として利用すること
   ②利益の有無にかかわらず、宣伝広告などの販促物や、企画、イベントなど営利を目的として利用すること
   ③その他、キャンバスマップルが営利行為と認めたもの
5. 本ソフトウェア製品をネットワークサーバにインストールし、ネットワークを介して利用することはできません。
6. お客様は、本ソフトウェア製品をリバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブル、その他いかなる解析や分析もすることはできません。
7. 本ソフトウェア製品は 1 つの製品として許諾されています。その構成部分を分離して複数の PND で使用することはできません。
8. お客様は、本ソフトウェア製品およびその複製物並びに印刷物および地図画像等を公の秩序または善良の風俗に反して使用してはなりません。
9. お客様は、本ソフトウェア製品をレンタルまたはリースすることはできません。
10. お客様は、本ソフトウェア製品を第三者に譲渡することはできません。

免責事項

1. 本ソフトウェア製品の機能および収録されるデータの内容について瑕疵があった場合でも、キャンバスマップルはその責を負うものではありません。
2. 本ソフトウェア製品に含まれるアプリケーション・ソフトウェアは現状のままで提供され、キャンバスマップルは、その商品性、完全性もしくは十分な品質を有することまたは特定の目的に適合することにつき、何らの保証するものではありません。
3. お客様が本ソフトウェア製品を利用した結果として生じたいかなる損害についても、キャンバスマップルはその責を負うものではありません。
4. キャンバスマップルの損害賠償責任は、本契約書で別途定められている場合を除き、請求の原因を問わず、お客様に現実に発生した通常かつ直接の損害の範囲内に限定され、お客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害および、第三者からお客様に対してなされた損害賠償責任についてその責任を負いません。いかなる場合においても、本契約に基づくキャンバスマップルの責任は、お客様が証明する本ソフトウェア製品の購入代金を上限とします。
5. 本ソフトウェア製品の仕様および提供されるサービスの内容は、予告なく変更される場合があります。
6. キャンバスマップルは、本ソフトウェア製品とともに、第三者のソフトウェア製品（以下「第三者ソフトウェア製品」といいます。）を提供する場合があります。その場合、キャンバスマップルによるサポートおよび保証等については、以下の規定が適用されるものとします。
   ①キャンバスマップルは、第三者ソフトウェア製品に関しての操作方法、瑕疵その他に関してサポートを提供するものではありません。
   ②キャンバスマップルは、第三者ソフトウェア製品の商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証をするものではありません。
   ③キャンバスマップルは、第三者ソフトウェア製品の使用により生じるいかなる損害についても一切責任を負いません。たとえ、キャンバスマップルおよびその関連会社がこのような損害の可能性について知らされていた場合でも同様です。

著作権およびその他の権利

1. 本ソフトウェア製品およびその複製物並びに印刷物および地図画像等についての著作権および産業財産権その他の権利は、キャンバスマップルまたはその許諾者に帰属します。
2. 本契約書はお客様に対し、キャンバスマップルの商標または本ソフトウェア製品に含まれる他社の商標やその他のシンボルマークなどに関する権利を譲渡したり、その使用を許諾したりするものではありません。
3. 本契約書において許諾されていない本ソフトウェア製品の法律で規定された権利は、すべてキャンバスマップルによって留保されます。

契約の解除

1. お客様が本契約書の条項および条件に違反した場合、キャンバスマップルはお客様に対し何ら通知・催告を行うことなく直ちに本契約を解除することができます。この場合、お客様は本ソフトウェア製品のすべてをキャンバスマップルに返還し、インストール済のアプリケーション・ソフトウェアをアンインストールし、その複製物ならびにその構成部分、収録されている地図データおよびその他のデータのすべてを破棄または消去しなければなりません。
2. お客様の契約違反によりキャンバスマップルに損害が生じたまたは生じる可能性がある場合、その損害が直接であるか間接的であるかを問わず、キャンバスマップルはお客様に損害賠償請求を行う場合があります。

管轄裁判所

お客様とキャンバスマップルとの間で紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

準拠法

本契約書は、日本国法に準拠するものとします。

協議

本契約書に定めのない事項または本契約書の各条項の解釈について疑義が生じた場合は、お客様およびキャンバスマップルは、信義に従い誠意をもって協議し解決するものといたします。

以上

仕様

寸法	（W）144 ×（H）90 ×（D）17.8（突起物を含まず）
質量（重量）	約 230 g（内蔵充電池含む、microSD カード含まず）
スクリーン	5 inch WVGA（800 × 480）
メモリーカード	microSD
電源	1700mAh リチウムポリマー充電池
CPU	Telechips TCC7901
GPS モジュール	SIRF Ⅲ（内蔵アンテナ）
ワンセグアンテナ	ロッドアンテナ
Operating System	Windows® CE 5.0
動作温度保証範囲	-0℃～ +60℃（バッテリー動作時）

再生時間

モード	再生時間
ナビゲーション	約 3 時間
動画再生	約 3 時間
ワンセグ TV	約 2 時間 30 分
音楽再生	約 3 時間

※ご使用になる環境により、再生時間は異なる事があります。

充電時間

電源	充電時間	備　考
AC アダプター	約 3 時間	電源オン状態
シガー電源アダプター	約 3 時間	電源オン状態

※ご使用になる環境により、充電時間は異なる事があります。